学修システム

授業の開講について

（1）学期
本学では、1つの学年を前期と後期に分け、学期ごとに単位を修得し、8学期（4年間）を積み重ねて卒業要件を満たす、セメスター制をとっています。
（2）授業の開講形式
各授業科目は、次の３つのうち、いずれかの開講形式をとっています。
・半期開講：前期または後期の半年間で授業が完結される。
・集中（不定期）開講：前期又は後期に集中的(不定期)に授業が計画される。

授業科目・単位制について

（1）授業科目
本学の授業科目は学則上、必修科目・選択科目・自由科目に分類されています。
授業科目は、【必修科目】【指定科目（必修に準ずる科目）】【選択科目】から構成し、学習目標の確実な積み上げを保証するために、学年により科目を指定しています。
【自由科目】【資格課程必修科目】：教育課程以外として取り扱われる資格課程科目
単位修得があっても卒業要件単位に充当されません。
（2）単位制度について
大学における学修は、単位制で行われています。
①単位制
単位制とは、修業年限（最低４年間）中に、卒業に必要な単位数を修得する制度です。
②単位　授業時間
すべての授業科目に、単位数を設定しています。単位とは、科目を修得するために必要な学修量（時間）を数値で表したものです。本学では、1単位の授業科目を45時間の学修（授業時間＋自習時間）を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間に必要な学修等を考慮して次の基準により計算します。
本学では、1時限を2時間として計算しています。

授業種別	学 修 量
講義演習 2単位科目	原則として30時間の授業時間と60時間の自習時間を合わせた学修をもって2単位とする
講義演習 3単位科目	原則として45時間の授業時間と90時間の自習時間を合わせた学修をもって3単位とする
実技実習 1単位科目	原則として30時間の授業時間と15時間の自習時間を合わせた学修をもって1単位とする
実技実習 2単位科目	原則として60時間の授業時間と30時間の自習時間を合わせた学修をもって2単位とする

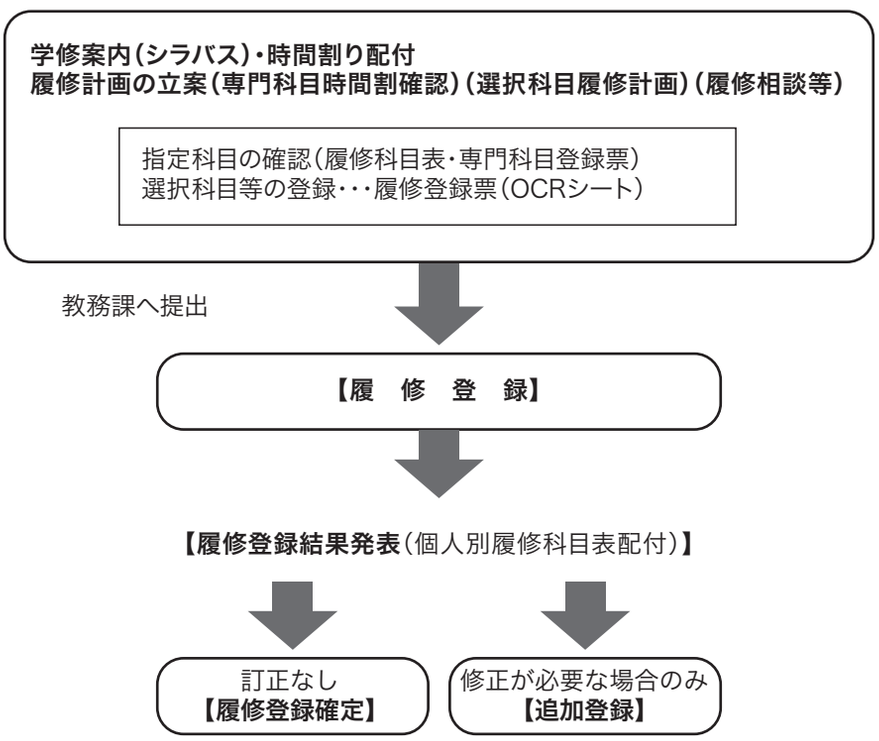
③単位の認定
登録した科目を履修し終えた者に対して科目担当者が成績を評価し単位を認定します。
1）単位は、授業科目を履修し、その試験に合格した者に与えられます。
2）成績評価及び単位認定は、科目担当者が授業中の学修状況や試験で判断されます。
3）履修した科目の成績は原則として、次学期の登録期間に発表します。
4）修得した単位を取り消すことはできません。また、再履修もできません。

履修登録

大学における学修の特徴は、多くの授業科目の中から学生一人ひとりが履修科目を選択できることです。
大学での学び方を、自らはっきりと定め、履修要項やシラバスを熟読し、時間割表を活用して履修（学修）計画を立てましょう。

（1）履修登録について
履修登録は、自らの履修（学修）計画に基づき、授業科目について履修（授業を受ける）の意志表示をすることです。履修登録をしていない場合、その科目の履修が許可されません。履修登録ができていないことに気づかずに受講していた場合、受講は無効となり単位も修得できません。

（2）履修登録の流れ
履修登録する科目は、自ら決定し、登録します。履修登録に関するガイダンスを、前期と後期の学期始めに実施します。履修登録は定められた期間内で行います。



（3）履修登録の注意点
①必ず本人が責任を持っておこなってください。代理手続きは認めません。所定の期日までに履修手続きをおこなわなかった場合は、その学期の履修を放棄したものとみなします。
②履修登録は、原則として学期初めにおこないますが、一部、後期履修科目（集中講義など）の登録を年度初めや学期途中におこなう場合もありますので、注意してください。
③履修登録した科目以外の履修・単位認定は認められません。
④1つの時限に履修登録できる科目は1科目です。同一時限に重複して履修登録した場合は、重複している全ての科目が登録無効となります。（ただし、隔週開講科目を除く）
⑤各領域の受講指定科目は、原則として所定年次に配当された科目を履修するものとし、上級年次に配当された科目を履修することはできません。また、科目の特性により前提となる科目の単位修得を履修条件として定められている科目がありますので、シラバス等で確認してください。
⑥共通教育センター科目は、履修年次を記して、その年次に履修することを推奨しています。
⑦すでに単位を修得した科目は、再度履修登録はできません。
⑧履修登録が確定後の科目の変更、追加、取り消しは原則として認められません。
⑨1科目の履修希望者が受講可能人数をこえた場合、受講者数を制限します。
⑩半期で履修登録する総単位数は前期後期とも各20単位が適性と判断していますが、全学年24単位を上限として登録を認めています。科目の開講形態により、上限単位を超えて登録できる科目もあります。
また、履修指導上必要と認める場合に上限単位数を超えて登録を許可することがあります。
なお、「単位互換事業による他大学開講の科目」「博物館に関する科目」および「教職に関する科目」、「二級建築士受験資格講座科目」はこの単位数に含みません。
⑪学芸員課程、教職課程、二級建築士受験資格講座科目を履修登録する場合は、事前に履修の届けと納金の手続きを済ませなければなりません。詳しくは各課程のガイダンスを参考にしてください。
⑫履修登録後、所定の日時に「履修登録確認表（個人別履修科目表）」を交付します。各自確認をし、修正が必要な場合は所定の期日までに教務課に申し出てください。この確認と申告を怠ったために生じる事態は、すべて学生各自の責任となります。
⑬2年生以上の学生で、所属しているコースや領域以外の専門科目を選択科目として履修を希望する場合は、願い出用紙を各学期の指定された履修登録期間に申し出る必要があります。
⑭3年次編入生は、他大学（短期大学などを含む）で修得した単位（既修得単位）のうち62単位を上限に本学で修得した単位として認定します。別に定める【既修得単位の認定に関する事項】に従って申請をしてください。
⑮次に該当する場合、他大学（短期大学などを含む）で修得した単位を本学で修得した単位として認定する場合があります。この場合の認定単位数は、大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換事業における他大学

開講授業、および本学の交換留学生制度により留学する外国の大学において修得した単位とあわせて60単位を超えない範囲となります。

a）他大学（短期大学などを含む）を卒業し、1年次から本学に入学した場合

b）他大学（短期大学などを含む）を中途退学し、1年次から本学に入学した場合

別に定める【既修得単位の認定に関する事項】に従って申請をしてください。

⑯次に該当する学生は、履修登録に際して必ず領域（コース）教員に履修相談を受けてください。

a）前年度に必修科目の単位を修得できなかったため再履修する場合

b）過去に修得できなかった必修科目を指定コース外で履修する場合

⑰その他、履修に関する相談は、教務課に問い合わせてください。

＊受講登録した学生は、成績評価対象者となります。登録確定した科目については、確実に学修していきましょう。

（4）履修の取消について

受講した科目の内容やレベルが登録時の予想と違う、健康上の理由で出席できないなどやむを得ない理由で履修中止を希望する場合は、履修取消（中止）届に理由を添えて提出します。

①履修の取消は、所定の期間に手続きをしなければいけません。

前期・・・4月下旬　　後期・・・10月上旬

②履修を取り消した科目をその学期中に再登録することはできません。ただし、次学期以降に改めて履修登録することは可能です。

③次の科目は原則履修取消ができません。

・各学年で受講を指定された科目（専門科目を含む）

・単位互換事業科目（大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学・地域コンソーシアム）

・資格課程必修科目

・インターンシップ科目

＊履修取消科目数が多い学生は、次学期登録時に履修相談をして適正な履修計画について指導を受けてください。

授業

（1）授業時間

本学の授業時間は、年間を通じて下記の通りです。

1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限	6時限
9:10 ～10:40	10:50 ～12:20	12:20 ～ 13:20	13:20 ～14:50	15:00 ～16:30	16:40 ～18:10	18:30 ～20:00

＊有料の資格講座、プロジェクト科目授業等の時間として利用します。

＊キャンパスプラザ京都で授業がある科目については、プラザ科目時間となります。

（2）授業教室について

各学期に配付する全体時間割で確認をしてください。

（3）出席

授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問を教え学ぶ場であり、学生生活の基本になるものです。したがって、授業への出席は重要であり、自主的な学問への探究心なくしてその成果を期待することはできません。

原則として出席がその授業回数の2／3に達しない場合は、その科目についての単位認定は受けられません。

①本学には、「公欠」等の取り扱いはありません。

欠席の場合は、欠席届（学生支援窓口に設置）を担当教員へ提出します。また、欠席分の講義内容・課題は各自で担当者に確認をして補ってください。その科目を受講する意思を確認するものと判断されます。

＊成安手帖の教員面談日・連絡先一覧を参照

②欠席が続いた場合、長期にわたって欠席する場合は、授業担当教員および学生支援部門と緊密な連絡をとり、その科目の履修と単位の修得に関して十分に相談してください。

（4）休講・補講について

休講（休校）

本学の休講（休校）については以下の①～③いずれかに該当する場合、その状況に応じた措置をとります。

①授業担当教員や大学の都合により授業を休講とする場合があります。その場合には成安情報サービス授業連絡や休講掲示で連絡します。また事情により所定授業開始時間から３０分を経ても担当教員が出講しない場合は「自然休講」となります。（教務課で確認が必要）

②気象庁が発表する気象警報において、「滋賀県大津市南部」、「滋賀県大津市北部」のいずれかの地域に、特別警報、暴風警報、または暴風雪警報のいずれかが発令された場合は下記の措置をとります。

午前7時までに特別警報、暴風警報、暴風雪警報が解除された場合	→	平常授業
午前10時までに特別警報、暴風警報、暴風雪警報が解除された場合	→	午前中(1･2限目)のみ休講・施設使用禁止。 3限目より開講・施設使用可
午前10時の時点で特別警報、暴風警報、暴風雪警報が解除されなかった場合	→	終日 休校・休講・施設使用禁止
授業中に特別警報、暴風警報、暴風雪警報のいずれかが発令された場合	→	発令以降、休校・休講・施設使用禁止

③下記の事情により、休校・休講・施設使用禁止が適切であると大学が判断した場合。

休校・休講・施設使用禁止等の連絡については、成安情報サービス・Ｇｍａｉｌ等で連絡します。

・自然災害等（台風、雷、洪水、暴風、豪雨、豪雪、高潮、津波、噴火、その他異常な自然現象など）により緊急事態と判断した場合。

・自然災害やストライキによりＪＲ湖西線、ＪＲ京都線、ＪＲ琵琶湖線のいずれかが運行休止（または長時間の運転見合わせ）になり、かつバス等の代替手段がない場合

・その他の事情により、休校・休講・施設使用禁止が適切であると学長が判断した場合。

これらに関する情報等は、成安情報サービス・Gmail 等でお知らせいたします。

※これらの緊急事態や河川の氾濫、道路の冠水や浸水、または鉄道への影響により大学から自宅への帰宅が困難な場合や「生命・身体に危険が生じる恐れがある」と判断した場合には、学内の安全な場所に避難するなど大学の指示に従ってください。
非常時には「身を守る行動」を優先してください。市町村などからの避難勧告・避難指示などの情報に留意し、少しでも安全な場所に移動するなど直ちに「身を守る行動」をとってください。

補講
前記の理由等により、休講となった授業については、授業期間内に補講を行います。補講については授業ごとに異なりますので、各自授業連絡等で休講となった科目担当者の指示に従ってください。

(5)授業連絡
授業に関する連絡は、授業中に連絡事項を伝えるほかに事務室前掲示板・成安情報サービスの授業連絡等を通じて情報を提供します。その他、授業担当者の指示に従ってください。

試験・成績について

(1) 試験について
試験は科目担当者が、筆記試験、レポート試験、課題作品提出、合評、口頭試問等により行います。試験の実施については、科目の到達目標により時期が異なります。

保留該当者試験

保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断した者に対して行われます。
①保留該当者発表　(前期は8月・後期は2月)
科目担当者が保留該当【W】となった科目については再度課題を提出することで再評価を受けることができます。学生現住所へ郵送通知・成安情報サービスの掲示板で学籍番号のみ掲載
②保留該当者試験　　(前期は8月・後期は2月)
各学期1回行われます。受験する場合は、該当科目について教務課窓口で手続きをして各担当者に再評価の依頼を行います。手続きを済ませないで課題を直接教員に提出した場合は無効となります。
手続き1) 受験願いの提出　及び受験料納付（1科目2000円)
手続き2) 課題提出・試験受験
＊保留該当者試験を受験しても学習目標の最低限の理解が得られていないと担当者が判断した場合は不合格【D】となります。

(2) 評価
①成績通知書に表示する記号は、次のとおりです。

評価	素点	評価基準の目安
S（秀）	100～90	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる特に秀でた成績
A（優）	89～80	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる優れた成績
B（良）	79～70	学習目標の根幹的な部分は理解し修得したものと認められる妥当な成績
C（可）	69～60	学習目標の最低限の理解は得られたものと認められる成績
W （保　留）	成績保留	保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が 困難であると科目担当者が判断
D （不　可）	59以下	学習目標の最低限の理解が得られていないと認められる成績
N （認　定）	認　定	＊既修得単位　認定　　＊一括認定 ＊指定した資格検定合格者への単位認定

(3) ＧＰＡ制度について
履修指導にいかすためにＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）の制度を導入します。詳細については、最終項目で紹介します。
(4) 成績発表
履修科目の成績は、学修状況の記録として単位を修得できなかった科目も含め「成績通知書」に表示され各学期の履修登録期間に配付します。また、学期ごとに保護者(保証人)にも通知します。
成績評価について確認事項がある場合は、次の学期登録期間終了までに所定の様式で申し出ることができます。

進級・卒業について

(1)進級について
成績単位の修得状況にかかわらず2年次及び3年次へは進級します。ただし4年次に進級するためには別に定める進級判定基準を満たさなければいけません。4年次への進級を不可と判断された場合は、原級(3年次)に留まらなければいけません。

進級判定基準
①専門研究課程にすすむ学力を有していること
②総修得単位数が76単位以上であること
③領域の専門科目及び芸術応用科目の修得単位数が54単位以上であること
＊1①～③の要件を充たさない場合は面接による審査を行う
＊2但し総修得単位数が51単位以下もしくは領域の専門科目及び芸術応用科目の修得単位数が43単位以下の場合は、書類審査のみで自動的に3年次留年とする

(2)卒業について
本学に4年以上在学し、卒業に必要な単位数を修得しなければなりません。
(3)卒業の時期について
①卒業の時期は、後期末(3月)または前期末(9月)です。
②後期末(3月)： 後期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。
卒業判定結果については、2月下旬に保証人宛に通知します。
③前期末(9月)： 前期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。
卒業判定結果については、9月上旬に保証人宛に通知します。

卒業見込み証明書発行基準
4年次に進級した学生で一定の科目・単位数の修得要件を満たした者に卒業見込証明書を発行します。

①卒業見込み者とは
卒業見込者とは、在学3年次終了時の修得した単位数および4年次に卒業要件を満たす履修登録をおこなったことが確認された者とする。
②判定時期について
本学はセメスター制を採用しているため「卒業見込判定」を4年次の前期及び後期におこなう。
前期の判定では、前期の成績および後期の履修登録が確定していないため暫定的な判定となる。(9月卒業は除く)

判定対象	判定時期	判定対象卒業時期
4年次前期	4月下旬(前期履修登録終了時)	9月卒業・3月卒業
4年次後期	9月下旬(後期履修登録終了時)	3月卒業

成安造形大学ＧＰＡについて

GPAとは、Grade Point Average（成績加重平均値）のことで、各科目の評点（100点満点）をグレードポイントに換算しなおし、その合計を科目の総単位数で割り、１単位のグレードポイントの平均値を算出するものです。
高校まではすべての学生が同じ教科・科目を履修しますから、単純に成績を比較できました。大学では、個々の学生の所属領域（コース）や目標に応じて、履修する科目を選択する自由度が高く、異なる科目を修得した様々な学生を単純に比較することができません。多様な学習環境を持つ大学では「学ぶ量」だけではなく「学ぶ質」を端的に評価できる指標が必要であり、GPAはそれを提供する方法です。専門性や就学目標からくる履修状況の違いを吸収し、公平さを与えながら学業成績評価の指標として使われるものであり、現在多くの大学でこのポイントを活用して大学での学びを確かなものにする動きがあります。

①履修登録したすべての科目を対象に算出します。単位を修得できなかった不合格科目も成績に加算されます。従って不合格科目が多いとそれだけＧＰＡが低くなります。ただし、履修を取り消しした科目、認定科目並びに卒業要件対象外の資格課程必修科目は、算出対象から除きます。

②ＧＰＡ算出について

素点	評価	グレードポイント
100～90	S（秀）	4
89～80	A（優）	3
79～70	B（良）	2
69～60	C（可）	1
59点以下	D（不可）	0
認定科目 資格課程必修科目		対象外

$$GPA=\frac{\text{Sの修得単位数}\times 4.0+\text{Aの修得単位数}\times 3.0+\text{Bの修得単位数}\times 2.0+\text{Cの修得単位数}\times 1.0}{\text{総履修登録単位数（「D」の単位数含む）}}$$

③学修指導について
本学では、平成２９年度から各学期のＧＰＡ数値が1.5未満の学生に対して、個別に履修指導を行い履修計画の見直しを行います。
また４学期連続してＧＰＡが1.0未満の学生に対して学長が退学勧告を行います。
＊各学期のＧＡＰについては、配付する成績通知書で確認することができます。

④その他ＧＰＡの利用について
・給付奨学生並びに特待生の適正判断審査の資料
・外国人留学生の授業料減免に関する成績審査資料
・就職や進学で成績順位の掲示を求められる場合は、学年別のＧＰＡによる成績順位を算出します。

カリキュラム

芸術学部芸術学科

＊平成25年度以前のカリキュラムについては、過去のシラバスで確認ができます。

人材育成目的

「芸術による社会への貢献」という基本理念（教育理念）の下、「誠と熱」を持ち、公正さと創造性を兼ね備える、発想力・提案力・技術力に優れた清廉な人材の育成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与方針）

成安造形大学　教育目標（学士課程の学習成果に関する指針＝学位授与の方針）
1 知識・理解（認知的領域）
（1）芸術分野における基本的な知識を体系的に理解できる。
（2）芸術分野の知識と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解できる。
（3）多文化・異文化を理解し、多様性を尊重できる。
2 技能（精神運動的領域）
（1）日本語や特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。自分の考えを伝えることができる。
（2）情報通信技術を利用して、多様な情報を収集し、的確に把握し、発信することができる。
（3）専門分野において基礎的な造形能力を身につけている。
（4）問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができる。
　　論理的思考力によって、解決のための計画を立案し、実行できる。
3 態度・志向性（情動的領域）
（1）自らを律して行動できる。指示を待つのではなく、やるべきことに積極的に取り組める。
（2）他者と協調して行動できる。他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
（3）卒業後も自らを律して学習できる。
（4）自己の良心と社会の規範に従って、誠意と熱意を持って行動できる。
（5）社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を理解し、社会に貢献できる。
4 創造性（総合的・実践的領域）
（1）獲得した知識・技能・態度等を総合的に活かし、研究制作成果を提示できる。
（2）専門分野における経験を活かし、自らが立てた課題において創造的提案ができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

1 学修の順次性を明確にし、総合的な造形的基礎と高度な専門性を養成するカリキュラムを構築します。
2 導入教育を充実させて社会人として必要な基礎力と対課題能力を養成し、それぞれが学ぶ専門分野と有機的にむすびついた高度な社会実践力を確立できる科目を設置します。

この編成方針の下に芸術学部芸術学科の教育課程は、1年前期・後期を《専門導入課程》、2年前期・後期3年前期・後期を《専門基盤課程》、4年前期・後期を《専門研究課程》の3段階にて編成します。また、各科目を「学部共通科目」と「専門科目」に分類します。

「学部共通科目」では、「基礎科目群」、「応用科目群」、「教養科目群」、「社会実践科目群」の4つを大きな柱としています。

「基礎科目群」では、4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎的学力を身につけるスタートプログラム科目や芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支える芸術基礎科目、所属する領域に関係なく、基本的な造形力を幅広く身につけるファウンデーション科目で構成されています。

「応用科目群」では、広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を習得するための芸術応用科目を提供します。

「教養科目群」には多様な知識・教養を学ぶことにより、多角的な視野や豊かな知性、柔軟な思考力を身につけ、各学生が幅広い視点から造形活動を捉えることができる資質を獲得するための教養科目、異文化コミュニケーション能力を身につけることにより、グローバルな視点に基づく思考力や創造力を獲得するための外国語科目があります。また、大学コンソーシアム京都や環びわ湖大学・地域コンソーシアムによる単位互換協定を締結した滋賀県、京都府の大学、短大の科目を受講することもできます。

「社会実践科目群」は、社会との関係のなかで自己を確認し、卒業後の自己実現のために寄与する科目群です。
地域貢献・プロジェクト科目は、「芸術による社会への貢献」を実現する科目として「芸術力」要請をもとに実践的な知識・技術を活用し、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力に優れた社会の即戦力となる人材育成を目的としています。また、キャリアデザイン科目は、キャリア形成を考えるうえで前提となる「自己分析・自己発見」「社会を知る」ということを段階的に学ぶことにより、学生が各々の目標に合わせたキャリアデザインを構築するための科目です。

「専門科目」では、それぞれに「専門導入科目群」、「専門基盤科目群」、「専門研究科目群」の3つを段階で履修します。
「専門導入科目群」では専門分野を修めるために必要不可欠な最低限の知識や技能を養うための必要不可欠な実習科目、演習科目を、「専門基盤科目群」では各自の専門領域の基盤となる知識や技術を修得することで、各自の専門性を深く究めてもらうための実習科目と演習科目を、「専門研究科目群」ではゼミ段階的な履修や選択的な履修をもとに、各自の専門領域にかかわる知識や技術を広く修得することを通して、より高度な表現力や思考力を獲得するとともに、各自の専門性を深く究めてもらうための研究科目、卒業制作を設置しています。

科目の種別及び受講科目の考え方

授業科目は、必修科目・指定科目（必修科目に準ずる）・選択科目から構成しています。また、学習目標の確実な積み上げを保証するために、受講科目を学年で指定しています。

必修科目

卒業するために単位修得が必要な科目です。この科目は、各領域で指定しているスタンダードカリキュラムを学んだのち、最終学年で自分の専門分野の集大成として学びます。

◎専門研究科目群	○専門研究科目	【2科目　10単位】　＊履修科目表に印字 卒業研究1・2	履修取消はできません

指定科目（必修科目に準ずる科目）

芸術学を専門とする本学の学びを確実にするために必要な科目を指定科目としています。この科目は、各領域（コース）の専門性を取得する為に指定している科目及び本学の学びの質を保証する科目から構成されており、各学年で受講が指定されています。

領域受講指定科目

各領域（コース）の専門的な内容をスタンダードカリキュラムとして受講科目を指定して提供しています。領域の専門性を取得するのに必要な科目であるため単位修得を原則とします。単位修得できなかった場合は、必ず領域教員から再履修指導を受けます。

◎専門導入科目群	○専門導入科目	【6科目　12単位】　＊履修科目表に印字 領域基礎造形実習1～4、領域別演習1・2	履修取消はできません
◎専門基盤科目群	○専門基盤科目	【16科目　32単位】　＊履修科目表に印字 コース別実習1～8、 コース別演習1～8	履修取消はできません
◎応用科目群	○芸術応用科目	【5科目　10単位】　＊履修科目表に印字 領域別概論、領域が指定する理論科目	履修取消はできません

学部共通受講指定科目

本学の学びの質を保証する基礎的な要素を［大学入門］［学びの基礎］［社会貢献］として共通教育センターが受講科目を指定して提供しています。単位修得を原則とします。

◎基礎科目群	○スタートプログラム科目	【6科目　6単位】　＊履修科目表に印字 大学入門1・2、スタディスキル実習1～4	履修取消はできません
	○ファウンデーション科目	【6科目　6単位】　＊履修科目表に印字 ファウンデーション実習A1～A4、 ファウンデーション実習B1・B2	履修取消はできません
◎社会実践科目群	○地域貢献・プロジェクト科目	【1科目　2単位】　＊履修科目表に印字 コミュニティデザイン概論	履修取消はできません
	○キャリアデザイン科目	【2科目　2単位】　＊履修科目表に印字 キャリアデザイン概論1・2	履修取消はできません

選択受講指定科目

本学の学びの質を発展的に保証する要素として[芸術基礎][芸術応用][社会貢献]として共通教育センターが下記の科目分類ごとに必要単位数を指定しています。

◎基礎科目群	○芸術基礎科目	【1年次に4科目　8単位以上を選択し受講すること】 東洋・日本美術史概説A／B、西洋美術史概説A／B、 デザイン史概説A／B
◎応用科目群	○芸術応用科目	【2科目　4単位以上】 所属する領域で受講指定する　領域別概論、領域論1～4以外に 応用科目群の中から2科目4単位を選択して受講すること
◎社会実践科目群	○地域貢献・プロジェクト科目	【1科目　2単位以上を選択し受講すること】 コミュニティデザイン論1・2、近江学A・B、琵琶湖の民俗史 プロジェクト演習1A～4E
	○キャリアデザイン科目	【2年次以降の科目より、1科目　2単位以上を選択し受講すること】 キャリアデザイン論A・B、就業力育成論1～4・演習A～D、 ポートフォリオ演習、インターンシップA・B

選択科目

芸術学の専門に関連する科目を自主的に選択して学べる科目です。[幅広い教養][多文化・異文化理解とコミュニケーション][他大学の学び]をカテゴリとして提供しています。

◎教養科目群	○教養科目
	○外国語科目
	○単位互換事業科目

＊単位互換事業科目については、受講が許可された場合の[履修取消]は認めません。
＊領域・コースが学生の専門分野の学習において推奨する科目は、領域推奨科目として紹介します。
＊共通教育センターが学生のめざすものによって推奨する科目は学部共通推奨科目として紹介します。
（キャリアデザイン科目、教職課程科目、学芸員課程科目　等）

卒業に必要な単位数

必修科目	10単位
指定科目（必修科目に準ずる） 選択科目	114単位以上

1、専門科目

専門科目とは、各領域がその領域に所属する学生に対して提供する科目で、専門導入科目、専門基盤科目、専門研究科目から構成され、各領域・各コースの専門分野を修めるために必要不可欠な科目です。学びの順次性により各学年・各学期に配当され履修します。各領域とも4学年（8学期）で合計54単位となります。

2、共通教育センター科目（学部共通科目）

共通教育センター科目（学部共通科目）とは、基礎科目群、応用科目群、社会実践科目群、教養科目群から構成され共通教育センター所属の教員がこの科目群をバックアップしています。

①基礎科目群

芸術大学に進学した学生が等しく身につけるべき知識や技能を修得するために1年生全員が学ぶ科目で以下の科目で構成されます。

スタートプログラム科目……4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎学力を身につけるための科目です。

芸術基礎科目……芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支えるための科目です。

ファウンデーション科目……所属する領域に関係なく10クラスに編成されて、専門分野の枠を超えた教員組織の指導のもと、美術経験の多少にかかわらず、表現することの面白さを体感することを通して芸術学部共通の造形基礎を学ぶ科目です。「描く」「つくる」「発想する」の3つの基本的なテーマに沿って、実技、講義、ワークショップ、発表、合評などで授業を構成し、表現課程での工夫や発見を通して、視野を広げていく楽しさと柔軟な思考を養う「ファウンデーション実習A」やコンピュータの基礎を学ぶ「ファウンデーション実習B」があります。

②応用科目群

広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を養うために必要不可欠な科目群です。

③社会実践科目群

「芸術による社会への貢献」を実践する科目群で自分の将来の姿を実現に近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会貢献を実現するプロジェクトを単位化する地域貢献・プロジェクト科目があります。

④教養科目群

各学生の専門や志向に有益な学問領域について自主的に学ぶことができる科目群で、教養科目、外国語科目、単位互換事業科目で構成されます。

3、学芸員課程科目

学芸員課程科目は、博物館法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されています。
「学芸員課程履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、学芸員課程科目を卒業のために必要な単位として算入することはできません。

4、教職課程科目

教職課程科目は、教育職員免許法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されます。
「教職課程履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、教職課程科目は卒業のために必要な単位として算入することはできません。

5、二級建築士受験資格講座科目

二級建築士、木造建築士の受験資格を得るために必要な本学が指定する科目で、「二級建築士受験資格講座履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、二級建築士受験資格講座科目は卒業に必要な単位として算入することはできません。

総合領域

総合領域人材育成目標について

芸術・文化・社会について、総合かつ横断的に学ぶ中から造形力や広い視野と基礎力を修得し社会動向に即応しながら、こと・もの・情報を複合的に「デザイン」することで、あらたな価値の推進ができる人材を育成します。

総合領域の特色・各課程での学びについて

デザインやアートの世界を広く知り、埋もれた価値を見つけ出すこと、さまざまなこと・もの・情報をむすびつけ、ことばや視覚情報を駆使しひとつの何かにまとめること。
それを社会に伝えていくのがデザインプロデュースです。制作する「作品」 自体に最終目標を置くのではなく、企画やアイデアを練り上げ、コミュニケーションをとりながら、社会に提案していく力、伝えあう力を、4年間で学びます。

● 専門導入課程（1年生）

ことばによるコミュニケーション、プレゼンテーション力を身につけます。芸術、教育、地域に連動する文化活動やアートプロデュ―スを学びます。プログレスファイルの役割と活用方法を理解し4年間の履修計画を立てます。

● 専門基盤課程（2～3年生）

市場調査を行い、それをまとめる編集能力を培います。
仮想ブランド、イベント企画のプランニングなど、与えられたテーマに添ったグループワークによる企画提案ができる基礎力を身につけます。

● 専門研究課程（4年生）

4年間の集大成として、各自が設定したテーマにそった企画を立ち上げ、社会に新たな価値を提案します。企画書を作成し、その内容を実現するためのデザインプロデュースを実践研究します。

芸術学科　総合領域

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定受講	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習１Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 イラストレーション/美術/ メデイアデザイン領域開講科目		基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習２Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 美術/空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習３Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 イラストレーション/メデイアデザイン/ 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習４Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習２Ｂ		2		実習	○				＊学科共通科目 イラストレーション領域開講科目		
	基礎造形実習４Ｂ		2		実習	○				＊学科共通科目 イラストレーション領域開講科目		
	基礎造形実習３Ｃ		2		実習	○				＊学科共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習４Ｃ		2		実習	○				＊学科共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習２Ｄ		2		実習	○				＊学科共通科目 メデイアデザイン領域開講科目	写真Cライセンス	
	基礎造形実習４Ｄ		2		実習	○				＊学科共通科目 メデイアデザイン領域開講科目	映像撮影機材C、 アニメーションスタジオAライセンス	
	基礎造形実習１Ｅ		2		実習	○				＊学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	プロデュース基礎演習１		2		演習	○						各領域の基礎演習を 4単位修得すること
	プロデュース基礎演習２		2		演習	○						
専門基盤科目	プロデュース演習１		2		演習		○					領域の専門分野を選択して 16単位を修得すること
	プロデュース演習２		2		演習		○					
	プロデュース演習３		2		演習		○					
	プロデュース演習４		2		演習		○					
	プロデュース演習５		2		演習			○				
	プロデュース演習６		2		演習			○				
	プロデュース演習７		2		演習			○				
	プロデュース演習８		2		演習			○				
										＊受講指定科目		受講指定科目及び デザインプロデュース演習、 各領域専門演習、実習から 16単位を修得すること
										＊受講指定科目		
										＊受講指定科目		
										＊受講指定科目		
	デザインプロデュース演習１～５					○	○	○				
科目研究専門	卒業研究１	4			演習				○			領域の専門研究科目を 10単位を修得すること
	卒業研究２	6			演習				○			
芸術応用科目												各領域の芸術応用科目を 10単位修得すること

■芸術学科　総合領域　デザインプロデュースコース
入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	プロデュース基礎演習1 言葉によるコミュニケーション	プロデュース基礎演習2 取材とプレゼンテーション	プロデュース演習2 市場分析と商品企画	プロデュース演習1 情報収集と編集デザイン	プロデュース演習5 アートをデザインするための調査分析	プロデュース演習7 商品プロデュース、トータルデザイン		
				プロデュース演習3 映像メディアプロデュース論	プロデュース演習4 商品開発の流れ	プロデュース演習6 アートをデザインするためのプロトタイプ制作	プロデュース演習8 コンセプト＆プランニング		
		基礎造形実習 基礎的造形力育成	基礎造形実習 基礎的造形力育成	1～2年生対象の他領域専門科目（実習、演習）	1～2年生対象の他領域専門科目（実習、演習）	1～3年生対象の他領域専門科目（実習、演習）	1～3年生対象の他領域専門科目（実習、演習）		
		基礎造形実習 基礎的造形力育成	基礎造形実習 基礎的造形力育成	1～2年生対象の他領域専門科目（実習、演習）	1～2年生対象の他領域専門科目（実習、演習）	1～3年生対象の他領域専門科目（実習、演習）	1～3年生対象の他領域専門科目（実習、演習）		
		デザインプロデュース演習1～5							
	芸術応用科目／10単位	領域別概論		領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目	領域別理論科目		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上							

イラストレーション領域

平成29(2017)年度以降入学生

イラストレーション領域人材育成目標について

イラストレーションは社会の様々な分野で、情報伝達、エンターテインメント、文化活動など、実用的・文化的に広く活用される具象図像表現です。描写、メディアデザイン、構成など、幅広いイラストレーションの表現力と知識を身に付け、新しい時代を担っていく人材を育成します。

イラストレーション領域の特色・各課程での学びについて

現代的な絵画表現であるイラストレーションは、印刷技術などのメディアの発達とともに、独自の進化を遂げてきました。今日ではイラストレーションを

「情報を伝達すること、具体的な意味を説明することを目的とする絵」（挿絵や図解、広告ポスターなど）
「複製され伝搬されることを目的とし、メディアのために描かれる絵」（印刷物やWEBなど）
「装飾や娯楽性を目的とする絵」（装飾絵画や壁画、宣伝キャラクターなど）

と定義できます。

また、現代ではこれらの機能の複合的な応用として、マンガやアニメーション、ゲームといったコンテンツの表現、キャラクターグッズなどの立体商品としても欠かせないものとなっています。

こういった多様性、変化し続ける柔軟性こそ、イラストレーションの魅力といえるでしょう。
こういったことを背景に、イラストレーション領域では、「描く力」を基礎とした、以下の9つのコースを設定します。

- **●メディアイラスト** 印刷に代表されるメディアで使われるイラストレーションの探求
- **●アートイラスト** 装飾などに使われる、アート作品としてのイラストレーションの探求
- **●デジタルイラスト** ゲームやネットなど、エンターテインメント分野で使われるイラストレーションの探求
- **●マンガ・絵本** 絵で表現する物語コンテンツの探求
- **●アニメーション** イラストレーションで作る映像表現の探求
- **●3DCG** 映像やゲームなど、仮想現実を構築する技術の探求
- **●フィギュア・トイ** 立体造形表現の探求
- **●風景イラスト** 現場体験を重視した、風景表現の探求
- **●ネイチャーイラスト** 科学知識を基礎とした、生物表現の探求

2年生以降, いずれかのコースに所属しつつ、他のコースや共通する授業も履修することで、幅広い知識と幅広い表現を身に付けます。

● 専門導入課程（1年生）

全てのコースの要素が含まれる、共通の導入授業を受講します。これにより表現の基礎を身に付けつつ、幅広いイラストレーションの可能性を知ります。そして2年以降のコース選択を考えます。

● 専門基盤課程（2～3年生）

イラストレーションは時代によって、表現もメディアも活用方法も様々に変化します。 それに対応するには「基本的な表現力」「ジャンルに対する専門性」「メディアに対する知識」が必要です。また、新しい表現、自分独自の表現には、他ジャンルへの興味も欠かせません。そこで専門基盤課程では、以下のようなカリキュラム構成を採用しています。

- ●2年生進級時にひとつのコースを選択、4年まで通して専門の知識と技術を身につける。
- ●同時に、コース以外の実習を、自分の興味に応じて選択履修することで、表現の幅を身に付け、自分の専門性に応用する。
- ●全コースに共通する描写、メディア技術については、全員が履修する（演習）。
- ●イラストレーションの歴史、文化、実務についての知識を学ぶ「イラストレーション論」は、全員が履修する。

● 専門研究課程（4年生）

専門研究課程では、それまでの授業とは異なり、自らがテーマを設定し、計画～制作～発表までをコントロールすることが要求されます。そのため、それぞれのコースゼミでは、さまざまな発表機会が設定され、それに沿って各自が研究制作を行います。

芸術学科　イラストレーション領域　平成29(2017)年度以降入学生

カリキュラム		単位数 必修	単位数 指受定講	単位数 選択	授業形態	開講期・年次 1年	2年	3年	4年	特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
専門導入科目	基礎造形実習１Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目　イラスト領域開講科目		基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習２Ａ		2		実習	○						
	基礎造形実習３Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目　イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習４Ａ		2		実習	○						
	基礎造形実習２Ｂ		2		実習	○				＊学科共通科目　イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習４Ｂ		2		実習	○				＊学科共通科目　イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習３Ｃ		2		実習	○						
	基礎造形実習４Ｃ		2		実習	○						
	基礎造形実習２Ｄ		2		実習	○						
	基礎造形実習４Ｄ		2		実習	○						
	基礎造形実習１Ｅ		2		実習	○						
	イラストレーション基礎演習１		2		演習	○				領域共通科目		領域の基礎演習を 4単位修得すること
	イラストレーション基礎演習２		2		演習	○				領域共通科目		
専門基盤科目	イラストレーション演習１		2		演習		○			領域共通科目		領域共通専門基盤科目を 16単位修得すること
	イラストレーション演習２		2		演習		○			領域共通科目		
	イラストレーション演習３		2		演習		○			領域共通科目		
	イラストレーション演習４		2		演習		○			領域共通科目		
	イラストレーション演習５		2		演習			○		領域共通科目		
	イラストレーション演習６		2		演習			○		領域共通科目		
	イラストレーション演習７		2		演習			○		領域共通科目		
	イラストレーション演習８		2		演習			○		領域共通科目		
	イラストレーション実習１－ａ		2		実習		○			メディアイラストコース科目		各コースの専門基盤科目 ８単位と その他のコース及び領域 共通選択（実習5～10） の専門基盤科目８単位を 修得すること
	イラストレーション実習２－ａ		2		実習		○			メディアイラストコース科目		
	イラストレーション実習３－ａ		2		実習			○		メディアイラストコース科目		
	イラストレーション実習４－ａ		2		実習			○		メディアイラストコース科目		
	イラストレーション実習１－ｂ		2		実習		○			アートイラストコース科目		
	イラストレーション実習２－ｂ		2		実習		○			アートイラストコース科目		
	イラストレーション実習３－ｂ		2		実習			○		アートイラストコース科目		
	イラストレーション実習４－ｂ		2		実習			○		アートイラストコース科目		
	イラストレーション実習１－ｃ		2		実習		○			デジタルイラストコース科目		
	イラストレーション実習２－ｃ		2		実習		○			デジタルイラストコース科目		
	イラストレーション実習３－ｃ		2		実習			○		デジタルイラストコース科目		
	イラストレーション実習４－ｃ		2		実習			○		デジタルイラストコース科目		
	イラストレーション実習１－ｄ		2		実習		○			マンガ・絵本コース科目		
	イラストレーション実習２－ｄ		2		実習		○			マンガ・絵本コース科目		
	イラストレーション実習３－ｄ		2		実習			○		マンガ・絵本コース科目		
	イラストレーション実習４－ｄ		2		実習			○		マンガ・絵本コース科目		
	イラストレーション実習１－ｅ		2		実習		○			アニメーションコース科目		
	イラストレーション実習２－ｅ		2		実習		○			アニメーションコース科目		
	イラストレーション実習３－ｅ		2		実習			○		アニメーションコース科目		
	イラストレーション実習４－ｅ		2		実習			○		アニメーションコース科目		
	イラストレーション実習１－ｆ		2		実習		○			３ＤＣＧコース科目		
	イラストレーション実習２－ｆ		2		実習		○			３ＤＣＧコース科目		
	イラストレーション実習３－ｆ		2		実習			○		３ＤＣＧコース科目		
	イラストレーション実習４－ｆ		2		実習			○		３ＤＣＧコース科目		
	イラストレーション実習１－ｇ		2		実習		○			フィギュア・トイコース科目		
	イラストレーション実習２－ｇ		2		実習		○			フィギュア・トイコース科目		
	イラストレーション実習３－ｇ		2		実習			○		フィギュア・トイコース科目		
	イラストレーション実習４－ｇ		2		実習			○		フィギュア・トイコース科目		
	イラストレーション実習１－ｈ		2		実習		○			風景イラストコース科目		
	イラストレーション実習２－ｈ		2		実習		○			風景イラストコース科目		
	イラストレーション実習３－ｈ		2		実習			○		風景イラストコース科目		
	イラストレーション実習４－ｈ		2		実習			○		風景イラストコース科目		
	イラストレーション実習１－ｉ		2		実習		○			ネイチャーイラストコース科目		
	イラストレーション実習２－ｉ		2		実習		○			ネイチャーイラストコース科目		
	イラストレーション実習３－ｉ		2		実習			○		ネイチャーイラストコース科目		
	イラストレーション実習４－ｉ		2		実習			○		ネイチャーイラストコース科目		
	イラストレーション実習５		2		実習		○	○		領域共通選択科目		
	イラストレーション実習６		2		実習		○	○		領域共通選択科目		
	イラストレーション実習７		2		実習		○	○		領域共通選択科目		
	イラストレーション実習８		2		実習		○	○		領域共通選択科目		
	イラストレーション実習９		2		実習		○	○		領域共通選択科目		
	イラストレーション実習１０		2		実習		○	○		領域共通選択科目		
科研専目究門	卒業研究1	4			演習				○			領域の専門研究科目を 10単位修得すること
	卒業研究2	6			演習				○			
	イラストレーション概論		2		講義	○						領域の芸術応用科目を 10単位修得すること
	イラストレーション論1		2		講義		○					
	イラストレーション論2		2		講義		○					
	イラストレーション論3		2		講義			○				
	イラストレーション論4		2		講義			○				

■ 芸術学部　イラストレーション領域　メディアイラストコース
平成29(2017)年度以降入学生　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程	
		1年	2年	3年	4年	
		前期または後期	前期または後期	前期または後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位				卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎 シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル作画・動画 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー基礎1 後期 イラスト基礎演習1 表現基礎（遠近法・色彩）	イラスト実習1-a イメージの咀嚼と表現・デザイン イラスト実習2-a ブックデザインと印刷・表現 選択実習 領域共通のイラスト実習5〜10もしくはイラスト実習1-a以外の1-b〜1-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5〜10もしくはイラスト実習2-a以外の2-b〜2-iから1科目を選択 イラスト演習4 演出（映像鑑賞） イラスト演習1 クロッキー基礎2 前期または後期 イラスト演習2 DTP 前期または後期 イラスト演習3 写真	イラスト実習3-a 挿絵と装丁 イラスト実習4-a コンテンツとデザイン 選択実習 領域共通のイラスト実習5〜10もしくはイラスト実習3-a以外の3-b〜3-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5〜10もしくはイラスト実習4-a以外の4-b〜4-iから1科目を選択 イラスト演習5 ポートフォリオ1 イラスト演習7 クロッキー応用2 イラスト演習6 クロッキー応用1 イラスト演習8 ポートフォリオ2		
	芸術応用科目／10単位	イラスト概論 イラストレーションとは何か　概論	イラスト論1 イラストレーションとは何か 1 イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3 イラスト論4 イラストレーションとは何か 4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論			
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		芸術応用科目 2科目4単位以上				
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上				
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上				

芸術学部　イラストレーション領域　アートイラストコース
平成29(2017)年度以降入学生　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程	
		1年	2年	3年	4年	
		前期または後期	前期または後期	前期または後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位				卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎 シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル作画・動画 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー基礎1 後期 イラスト基礎演習1 表現基礎（遠近法・色彩）	イラスト実習1-b 水性技法／乾式技法 イラスト実習2-b 色彩描画 選択実習 領域共通のイラスト実習5〜10もしくはイラスト実習1-b以外の1-aおよび1-c〜1-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5〜10もしくはイラスト実習2-b以外の2-aおよび2-c~2-iから1科目を選択 イラスト演習4 演出（映像鑑賞） イラスト演習1 クロッキー基礎2 前期または後期 イラスト演習2 DTP 前期または後期 イラスト演習3 写真	イラスト実習3-b テクスチャー研究 イラスト実習4-b 飾る事を目的とした絵画制作 選択実習 領域共通のイラスト実習5〜10もしくはイラスト実習3-b以外の3-aおよび3-c~3-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5〜10もしくはイラスト実習4-b以外の4-aおよび4-c~4-iから1科目を選択 イラスト演習5 ポートフォリオ1 イラスト演習7 クロッキー応用2 イラスト演習6 クロッキー応用1 イラスト演習8 ポートフォリオ2		
芸術応用科目／10単位		イラスト概論 イラストレーションとは何か 概論	イラスト論1 イラストレーションとは何か 1 イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3 イラスト論4 イラストレーションとは何か 4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論			
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		芸術応用科目 2科目4単位以上				
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上				
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上				

■ 芸術学部　イラストレーション領域　デジタルイラストコース
平成29(2017)年度以降入学生　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程	
		1年	2年	3年	4年	
		前期または後期	前期または後期	前期または後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位				卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎 シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル作画・動画 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー基礎1 後期 イラスト基礎演習1 表現基礎（遠近法・色彩）	イラスト実習1-c さまざまな仕上げ方とデジタル技法 イラスト実習2-c デジタル技法のワークフローと描き方 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習1-c以外の1-a~1-bおよび1-d~1-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習2-c以外の2-a~2-bおよび2-d~2-iから1科目を選択 イラスト演習4 演出（映像鑑賞） イラスト演習1 クロッキー基礎2 前期または後期 イラスト演習2 DTP 前期または後期 イラスト演習3 写真	イラスト実習3-c 広告原画制作 イラスト実習4-c シリーズイラストレーション制作 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習3-c以外の3-a~3-bおよび3-d~3-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習4-c以外の4-a~4-bおよび4-d~4-iから1科目を選択 イラスト演習5 ポートフォリオ1 イラスト演習7 クロッキー応用2 イラスト演習6 クロッキー応用1 イラスト演習8 ポートフォリオ2		
芸術応用科目／10単位		イラスト概論 イラストレーションとは何か　概論	イラスト論1 イラストレーションとは何か 1 イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3 イラスト論4 イラストレーションとは何か 4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論			
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		芸術応用科目 2科目4単位以上				
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上				
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上				

芸術学部　イラストレーション領域　マンガ・絵本コース
平成29(2017)年度以降入学生　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程	
		1年	2年	3年	4年	
		前期または後期	前期または後期	前期または後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位				卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎・シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテ・デジタル作画・動画 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー基礎1 後期 イラスト基礎演習1 表現基礎（遠近法・色彩）	イラスト実習1-d 童話などから物語の構造を学ぶ イラスト実習2-d 取材からマンガや絵本を創作する 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習1-d以外の1-a~1-cおよび1-e~1-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習2-d以外の2-a~2-cおよび2-e~2-iから1科目を選択 イラスト演習4 演出（映像鑑賞） イラスト演習1 クロッキー基礎2 前期または後期 イラスト演習2 DTP 前期または後期 イラスト演習3 写真	イラスト実習3-d マンガ・絵本創作（短編連作） イラスト実習4-d マンガ・絵本創作（中編制作） 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習3-d以外の3-a~3-cおよび3-e~3-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習4-d以外の4-a~4-cおよび4-e~4-iから1科目を選択 イラスト演習5 ポートフォリオ1 イラスト演習7 クロッキー応用2 イラスト演習6 クロッキー応用1 イラスト演習8 ポートフォリオ2		
芸術応用科目／10単位		イラスト概論 イラストレーションとは何か 概論	イラスト論1 イラストレーションとは何か 1 イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3 イラスト論4 イラストレーションとは何か 4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論			
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		芸術応用科目 2科目4単位以上				
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上				
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上				

芸術学部　イラストレーション領域　アニメーションコース
平成29(2017)年度以降入学生　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程	
		1年	2年	3年	4年	
		前期または後期	前期または後期	前期または後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位				卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎・シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテ・デジタル作画・動画 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー基礎1 後期 イラスト基礎演習1 表現基礎（遠近法・色彩）	イラスト実習1-e アニメーション作画・原理 イラスト実習2-e アニメーション素材の仕上げと撮影・編集 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習1-e以外の1-a~1-dおよび1-f~1-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習2-e以外の2-a~2-dおよび2-f~2-iから1科目を選択 イラスト演習4 演出（映像鑑賞） イラスト演習1 クロッキー基礎2 前期または後期 イラスト演習2 DTP 前期または後期 イラスト演習3 写真	イラスト実習3-e アニメ作品制作（グループ作品） イラスト実習4-e アニメ作品制作（個人作品） 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習3-e以外の3-a~3-dおよび3-f~3-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習4-e以外の4-a~4-dおよび4-f~4-iから1科目を選択 イラスト演習5 ポートフォリオ1 イラスト演習7 クロッキー応用2 イラスト演習6 クロッキー応用1 イラスト演習8 ポートフォリオ2		
芸術応用科目／10単位		イラスト概論 イラストレーションとは何か　概論	イラスト論1 イラストレーションとは何か 1 イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3 イラスト論4 イラストレーションとは何か 4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論			
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		芸術応用科目 2科目4単位以上				
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上				
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上				

芸術学部　イラストレーション領域　3DCGコース
平成29(2017)年度以降入学生　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程	
		1年	2年	3年	4年	
		前期または後期	前期または後期	前期または後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位				卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎 シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル作画・動画 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー基礎1 後期 イラスト基礎演習1 表現基礎（遠近法・色彩）	イラスト実習1-f 3DCGモデリング イラスト実習2-f 3DCG アニメーション、映像合成 選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 1-f以外の1-a~1-eおよび 1-g~1-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 2-f以外の2-a~2-eおよび 2-g~2-iから1科目を選択 イラスト演習4 演出（映像鑑賞） イラスト演習1 クロッキー基礎2 前期または後期 イラスト演習2 DTP イラスト演習3 写真	イラスト実習3-f ゲーム開発環境の習得 イラスト実習4-f 作品制作（アニメーション、ゲーム） 選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 3-f以外の3-a~3-eおよび 3-g~3-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 4-f以外の4-a~4-eおよび 4-g~4-iから1科目を選択 イラスト演習5 ポートフォリオ1 イラスト演習7 クロッキー応用2 イラスト演習6 クロッキー応用1 イラスト演習8 ポートフォリオ2		
芸術応用科目／10単位		イラスト概論 イラストレーションとは何か 概論	イラスト論1 イラストレーションとは何か 1 イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3 イラスト論4 イラストレーションとは何か 4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論			
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		芸術応用科目 2科目4単位以上				
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上				
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上				

芸術学部　イラストレーション領域　フィギュア・トイコース
平成29(2017)年度以降入学生　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程	
		1年	2年	3年	4年	
		前期または後期	前期または後期	前期または後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位				卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎 シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル作画・動画 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー基礎1 後期 イラスト基礎演習1 表現基礎（遠近法・色彩）	イラスト実習1-g ハンドモデリング イラスト実習2-g オリジナルモデリング 選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 1-g以外の1-a~1-fおよび 1-h~1-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 2-g以外の2-a~2-fおよび 2-h~2-iから1科目を選択 イラスト演習4 演出（映像鑑賞） イラスト演習1 クロッキー基礎2 前期または後期 イラスト演習2 DTP 前期または後期 イラスト演習3 写真	イラスト実習3-g 3DCGモデリング イラスト実習4-g シリーズモデリング 選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 3-g以外の3-a~3-fおよび 3-h~3-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習 5~10もしくはイラスト実習 4-g以外の4-a~4-fおよび 4-h~4-iから1科目を選択 イラスト演習5 ポートフォリオ1 イラスト演習7 クロッキー応用2 イラスト演習6 クロッキー応用1 イラスト演習8 ポートフォリオ2		
芸術応用科目／10単位		イラスト概論 イラストレーションとは何か　概論	イラスト論1 イラストレーションとは何か 1 イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3 イラスト論4 イラストレーションとは何か 4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論			
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		芸術応用科目 2科目4単位以上				
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上				
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上				

芸術学部　イラストレーション領域　風景イラストコース
平成29(2017)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程	
		1年	2年	3年	4年	
		前期または後期	前期または後期	前期または後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位				卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎・シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテ・デジタル作画・動画 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー基礎1 後期 イラスト基礎演習1 表現基礎（遠近法・色彩）	イラスト実習1-h 風景写生 イラスト実習2-h 水性技法／乾式技法 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習1-h以外の1-a~1-gおよび1-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習2-h以外の2-a~2-gおよび2-iから1科目を選択 イラスト演習4 演出（映像鑑賞） イラスト演習1 クロッキー基礎2 前期または後期 イラスト演習2 DTP 前期または後期 イラスト演習3 写真	イラスト実習3-h 空間描写 イラスト実習4-h 風景・空間表現をテーマとした制作 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習3-h以外の3-a~3-gおよび3-iから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習4-h以外の4-a~4-gおよび4-iから1科目を選択 イラスト演習5 ポートフォリオ1 イラスト演習7 クロッキー応用2 イラスト演習6 クロッキー応用1 イラスト演習8 ポートフォリオ2		
芸術応用科目／10単位		イラスト概論 イラストレーションとは何か 概論	イラスト論1 イラストレーションとは何か 1 イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3 イラスト論4 イラストレーションとは何か 4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論			
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		芸術応用科目 2科目4単位以上				
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上				
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上				

■ 芸術学部　イラストレーション領域　ネイチャーイラストコース
平成29(2017)年度以降入学生　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程	
		1年	2年	3年	4年	
		前期または後期	前期または後期	前期または後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位				卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 基礎描写 基礎造形実習2B イラストレーション画材研究 基礎造形実習3A 立体基礎・CG基礎 シンボライズ 基礎造形実習4B 絵コンテ デジタル作画・動画 前期 イラスト基礎演習2 クロッキー基礎1 後期 イラスト基礎演習1 表現基礎（遠近法・色彩）	イラスト実習1-i 人体描写1 イラスト実習2-i 人体描写2 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習1-i以外の1-a~1-hから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習2-i以外の2-a~2-hから1科目を選択 イラスト演習4 演出（映像鑑賞） イラスト演習1 クロッキー基礎2 前期または後期 イラスト演習2 DTP 前期または後期 イラスト演習3 写真	イラスト実習3-i 美術解剖学応用1 イラスト実習4-i 美術解剖学応用2 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習3-i以外の3-a~3-hから1科目を選択 選択実習 領域共通のイラスト実習5~10もしくはイラスト実習4-i以外の4-a~4-hから1科目を選択 イラスト演習5 ポートフォリオ1 イラスト演習7 クロッキー応用2 イラスト演習6 クロッキー応用1 イラスト演習8 ポートフォリオ2		
	芸術応用科目／10単位	イラスト概論 イラストレーションとは何か　概論	イラスト論1 イラストレーションとは何か 1 イラスト論2 イラストレーションとは何か 2	イラスト論3 イラストレーションとは何か 3 イラスト論4 イラストレーションとは何か 4		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論			
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		芸術応用科目 2科目4単位以上				
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上				
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上				

イラストレーション領域

平成28（2016）年度以前入学生

■ イラストレーション領域人材育成目標について

イラストレーション表現の基礎となる「描写」「技法」と、その展開である「コンテンツ」「デザイン」の4つの系統の学びにより、情報伝達、エンターテインメント、文化活動など「幅広く社会に必要とされる美術表現」＝イラストレーション表現能力を持つ人材を育成する。

■ イラストレーション領域の特色・各課程での学びについて

現代的な絵画表現であるイラストレーションは、印刷技術などのメディアの発達とともに、独自の進化を遂げてきました。今日ではイラストレーションを

「情報を伝達すること、具体的な意味を説明することを目的とする絵」（挿絵や図解、広告ポスターなど）
「複製され伝搬されることを目的とし、メディアのために描かれる絵」（印刷物やWEBなど）
「装飾や娯楽性を目的とする絵」（装飾絵画や壁画、宣伝キャラクターなど）

と定義できます。

また、現代ではこれらの機能の複合的な応用として、マンガやアニメーション、ゲームといったコンテンツの表現、キャラクターグッズなどの商品としても欠かせないものとなっています。こういった多様性、変化し続ける柔軟性こそ、イラストレーションの魅力といえるでしょう。

イラストレーション領域では、イラストレーションの可能性を探求し、実現する人材を育成するために、以下の４つの学びの系統に分けています。

「描写系の学び」では、対象の特徴や本質を捉え、絵として表現できる技術を学びます。主にデッサンなど写実描写により、観察力と描写力を養いますが、デフォルメなどの誇張表現も含みます。
「技法系の学び」では、画材の特性を活かした表現技術を学びます。今日のイラストレーションは技法を選ばない表現であり、さまざまな技法に精通することで表現力が高まります。
「コンテンツ系の学び」では、複数の図像やイラストレーションを組み合わせることで、意味を表現することを学びます。対比効果や構図構成にはじまり、絵本やマンガといったコンテンツまで含みます。
「デザイン系の学び」では、印刷など様々なメディアを使いこなすことを学びます。イラストレーションは、単独ではなくさまざまな要素と共に成立します。メディアの中で絵を活かしていく方法から、商品展開までを含みます。

この４つの学びの系統すべてを基盤として習得しつつ、徐々にそれぞれの専門性を見出していくカリキュラム構成となっています。

● 専門導入課程（１年生）

描写と技法の基本を学び、観察力や描写力の基礎を身に付ける。
構図と構成を学び、絵で意味を伝えることを身につける。
グラフィックデザインの考え方と基礎技術を学ぶ。

● 専門基盤課程（２～３年生）

「描写」「技法」「コンテンツ」「デザイン」の学びの各系統に対する、知識と経験を深め、目的にあわせて構成や応用ができるようになる。またこれらの系統の中から、自分の専門性を模索する。

● 専門研究課程（４年生）

「描写」「技法」「コンテンツ」「デザイン」いずれかのゼミに１年間所属し、他の系統で学んだことも活かしつつ、より専門性を高めた表現を探求する。卒業研究（制作）としてその成果発表を行う。

芸術学科　イラストレーション領域　平成28(2016)年度以前入学生

カリキュラム		単位数 必修	単位数 指定受講	単位数 選択	授業形態	開講期・年次 1年	2年	3年	4年	特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
専門導入科目	基礎造形実習１Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 イラスト領域開講科目		基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習２Ａ		2		実習	○						
	基礎造形実習３Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習４Ａ		2		実習	○						
	基礎造形実習２Ｂ		2		実習	○				＊学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習４Ｂ		2		実習	○				＊学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習３Ｃ		2		実習	○						
	基礎造形実習４Ｃ		2		実習	○						
	基礎造形実習２Ｄ		2		実習	○						
	基礎造形実習４Ｄ		2		実習	○						
	基礎造形実習１Ｅ		2		実習	○						
	イラストレーション基礎演習１		2		演習	○						領域の基礎演習を 4単位修得すること
	イラストレーション基礎演習２		2		演習	○						
専門基盤科目	イラストレーション演習１		2		演習		○					領域の専門基盤科目を 32単位修得すること
	イラストレーション演習２		2		演習		○					
	イラストレーション演習３		2		演習		○					
	イラストレーション演習４		2		演習		○					
	イラストレーション演習５		2		演習			○				
	イラストレーション演習６		2		演習			○				
	イラストレーション演習７		2		演習			○				
	イラストレーション演習８		2		演習			○				
	イラストレーション実習１		2		実習		○					
	イラストレーション実習２		2		実習		○					
	イラストレーション実習３		2		実習		○					
	イラストレーション実習４		2		実習		○					
	イラストレーション実習５		2		実習			○				
	イラストレーション実習６		2		実習			○				
	イラストレーション実習７		2		実習			○				
	イラストレーション実習８		2		実習			○				
専門研究科目	卒業研究1	4			演習				○			領域の専門研究科目を 10単位修得すること
	卒業研究2	6			演習				○			
芸術応用科目	イラストレーション概論		2		講義	○						領域の芸術応用科目を 10単位修得すること
	イラストレーション論1		2		講義		○					
	イラストレーション論2		2		講義		○					
	イラストレーション論3		2		講義			○				
	イラストレーション論4		2		講義			○				

芸術学科 イラストレーション領域 イラストレーションコース
平成28(2016)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程	
		1年	2年	3年	4年	
		前期または後期	前期または後期	前期または後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位				卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 基礎描写1（明暗表現） 基礎造形実習2B 基礎描写2（色彩表現） 基礎造形実習3A シンボライズ&デザイン 基礎造形実習4B 色彩 イラスト基礎演習1 構図&挿絵 イラスト基礎演習2 人体描写基礎（クロッキー）	イラスト実習1 空間描写（教職/絵画） イラスト実習2 人体描写応用（教職/絵画） イラスト実習3 技法1 デジタルペイント マチエール イラスト実習4 技法2 水性技法 乾式技法 イラスト演習1 コンテンツ入門 イラスト演習2 グラフィックデザイン基礎 イラスト演習3 情報伝達技術 WEB+発信 イラスト演習4 情報伝達表現（実用イラストレーション）	イラスト実習5 コンテンツ・演出構成 イラスト実習7 描写 空間描写 人体・動物描写 イラスト演習5 コンテンツ・演出構成 DTP イラスト演習7 描写 人体 イラスト実習6 技法 デジタルイメージング タブロー制作 イラスト実習8 デザイン 商品イラストレーション イラスト演習6 描写 人体 イラスト演習8 デザイン ポートフォリオ		
芸術応用科目／10単位		イラスト概論 歴史と現状	イラスト論1 視覚認知論 美術解剖学 イラスト論2 メディアイラスト論	イラスト論3 形態論 視覚論 イラスト論4 自己プロデュース		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1 大学入門2 スタディスキル実習1 スタディスキル実習3 スタディスキル実習2 スタディスキル実習4 ファウンデーション実習A1 ファウンデーション実習A3 ファウンデーション実習A2 ファウンデーション実習A4 ファウンデーション実習B1 ファウンデーション実習B2 キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2	コミュニティデザイン概論			
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A 東洋・日本美術史概説B 西洋美術史概説A 西洋美術史概説B デザイン史概説A デザイン史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上			
		芸術応用科目 2科目4単位以上				
		地域貢献・プロジェクト科目 1科目2単位以上				
		キャリアデザイン科目 1科目2単位以上				

美術領域

美術領域人材育成目標について

「描くこと」「つくること」「表現すること」を基本に、感性を通して自然の世界や日常生活の環境を見つめ、その中で豊かな想像力を育み、自らのテーマ(目標)を設定し制作した作品を社会に向けて発信できる表現力を持つ人材を育成する。

美術領域の特色・各課程での学びについて

実習や演習を通して様々な「技法」「知識」「表現力」を高め、美術に必要な基礎技術を養い、美術概論や美術論では「なぜ作品を制作するのか」「何を社会に伝えたいのか」など、美術とは何かを修得しながら考える力を培います。このような積み重ねが、卒業後のそれぞれの就職先で幅広く生かされ多くの人材が活躍しています。

● 専門導入課程（１年生）

基礎造形実習科目の学修目標は、一つには平面・立体表現の基礎を学び、そして日本画・洋画・現代アートのそれぞれの専門教育の導入として専門分野の基礎を修得します。また、演習では現代の若手芸術家の活動や作品を通じて紹介しながら「描く」「つくる」「表現する」行為について考察します。

● 専門基盤課程（２～３年生）

演習科目において、様々な「技法」「素材」「表現方法」について知的に学び、さらに専門分野の表現の根幹となる「技術力」「造形力」そして「感性」を磨きます。実習課題は思考しながら自らの作品のテーマを定め、独創性ある表現方法を実践していきます。

● 専門研究課程（４年生）

美術の表現者としての自覚と、人としての生き方を考え、専門分野の研究を更に広げ深めることを目標に、自らの研究試行の段階で指導と助言を受けながら確固たるものにしていく手法を学びます。

芸術学科　美術領域

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定受講	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習１Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 美術領域開講科目		基礎造形実習1〜4 計８単位を修得すること
	基礎造形実習２Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習３Ａ		2		実習	○						
	基礎造形実習４Ａ		2		実習	○						
	基礎造形実習２Ｂ		2		実習	○						
	基礎造形実習４Ｂ		2		実習	○						
	基礎造形実習３Ｃ		2		実習	○				＊学科共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習４Ｃ		2		実習	○				＊学科共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習２Ｄ		2		実習	○						
	基礎造形実習４Ｄ		2		実習	○						
	基礎造形実習１Ｅ		2		実習	○						
	美術基礎演習１		2		演習	○				領域共通科目		領域の基礎演習を ４単位修得すること
	美術基礎演習２		2		演習	○				領域共通科目		
専門基盤科目	美術演習１		2		演習		○			領域共通科目		領域共通および 各コースの専門基盤科目 32単位を修得すること
	美術演習３		2		演習		○			領域共通科目		
	美術演習２-a		2		演習		○			日本画コース科目		
	美術演習４-a		2		演習		○			日本画コース科目		
	美術演習５-a		2		演習		○			日本画コース科目		
	美術演習６-a		2		演習		○			日本画コース科目		
	美術演習７-a		2		演習			○		日本画コース科目		
	美術演習８-a		2		演習			○		日本画コース科目		
	美術実習1-a		2		実習		○			日本画コース科目		
	美術実習2-a		2		実習		○			日本画コース科目		
	美術実習3-a		2		実習		○			日本画コース科目		
	美術実習4-a		2		実習		○			日本画コース科目		
	美術実習5-a		2		実習			○		日本画コース科目		
	美術実習6-a		2		実習			○		日本画コース科目		
	美術実習7-a		2		実習			○		日本画コース科目		
	美術実習8-a		2		実習			○		日本画コース科目		
	美術演習２-b		2		演習		○			洋画コース科目		
	美術演習４-b		2		演習		○			洋画コース科目		
	美術演習５-b		2		演習		○			洋画コース科目		
	美術演習６-b		2		演習		○			洋画コース科目		
	美術演習７-b		2		演習			○		洋画コース科目		
	美術演習８-b		2		演習			○		洋画コース科目		
	美術実習1-b		2		実習		○			洋画コース科目		
	美術実習2-b		2		実習		○			洋画コース科目		
	美術実習3-b		2		実習		○			洋画コース科目		
	美術実習4-b		2		実習		○			洋画コース科目		
	美術実習5-b		2		実習			○		洋画コース科目		
	美術実習6-b		2		実習			○		洋画コース科目		
	美術実習7-b		2		実習			○		洋画コース科目		
	美術実習8-b		2		実習			○		洋画コース科目		
	美術演習２-c		2		演習		○			現代アートコース科目		
	美術演習４-c		2		演習		○			現代アートコース科目		
	美術演習５-c		2		演習		○			現代アートコース科目		
	美術演習６-c		2		演習		○			現代アートコース科目		
	美術演習７-c		2		演習			○		現代アートコース科目		
	美術演習８-c		2		演習			○		現代アートコース科目		
	美術実習1-c		2		実習		○			現代アートコース科目		
	美術実習2-c		2		実習		○			現代アートコース科目	写真C(白スタジオ限定)ライセンス	
	美術実習3-c		2		実習		○			現代アートコース科目		
	美術実習4-c		2		実習		○			現代アートコース科目		
	美術実習5-c		2		実習			○		現代アートコース科目		
	美術実習6-c		2		実習			○		現代アートコース科目		
	美術実習7-c		2		実習			○		現代アートコース科目		
	美術実習8-c		2		実習			○		現代アートコース科目		
科研専目究門	卒業研究1	4			演習				○			領域の専門研究科目 10単位修得すること
	卒業研究2	6			演習				○			
芸術応用科目	美術概論		2		講義	○						領域の芸術応用科目 10単位修得すること
	美術論1		2		講義		○					
	美術論2		2		講義		○					
	美術論3		2		講義			○				
	美術論4		2		講義			○				

芸術学科　日本画コース　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程 1年 前期	専門導入課程 1年 後期	専門基盤課程 2年 前期	専門基盤課程 2年 後期	専門基盤課程 3年 前期	専門基盤課程 3年 後期	専門研究課程 4年 前期	専門研究課程 4年 後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3C 3コースの基礎を経験① ＊領域共通科目	美術実習1-a 写生表現	美術実習3-a 静物表現	美術実習5-a 人物表現	美術実習7-a 風景表現		
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4C 3コースの基礎を経験 ＊領域共通科目	美術実習2-a 植物表現	美術実習4-a 動物表現	美術実習6-a コスチューム表現	美術実習8-a 各自のテーマによる表現		
		美術基礎演習1 美術入門 ＊領域共通科目	美術基礎演習2 日本・現代・美術Ⅰ ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習1 古美術研究 ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習3 日本・現代・美術Ⅱ ＊領域共通科目	美術演習7-a 日本画研究Ⅲ 絵具をつくる	美術演習8-a 日本画研究Ⅳ 現代		
				美術演習2-a 材料研究Ⅰ 歴史と技法	美術演習4-a 材料研究Ⅱ 箔　絹に描く				
				美術演習5-a 日本画研究Ⅰ 古典	美術演習6-a 日本画研究Ⅱ マテリアルを知る				
	芸術応用科目／10単位		美術概論 美術概論	美術論1 近代日本画作家研究	美術論2 比較絵画論	美術論3 近代以降の絵画と視覚文化の研究	美術論4 現代アート概論「彫刻」をキーワードに		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4			領域授講推奨科目 ・特別講義3 ・現代美術論A ・現代美術論B ・絵画材料学			
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上							

■ 芸術学科　洋画コース　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3C 3コースの基礎を経験① ＊領域共通科目	美術実習1-b 油彩画専門基礎1	美術実習3-b 油彩画専門基礎3	美術実習5-b 方法論の展開	美術実習7-b 自由制作1		
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4C 3コースの基礎を経験 ＊領域共通科目	美術実習2-b 油彩画専門基礎2	美術実習4-b 版画技法1（シルクスクリーン）	美術実習6-b 版画技法2（リトグラフ・銅版画技法）	美術実習8-b 自由制作2		
		美術基礎演習1 美術入門 ＊領域共通科目	美術基礎演習2 日本・現代・美術Ⅰ ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習1 古美術研究 ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習3 日本・現代・美術Ⅱ ＊領域共通科目	美術演習7-b テーマの発見と研究計画の立案	美術演習8-b 作家作品研究		
				美術演習2-b ドローイング研究Ⅰ	美術演習4-b ドローイング研究Ⅱ				
				美術演習5-b 油彩画技術と表現Ⅰ	美術演習6-b 油彩画技術と表現Ⅱ				
	芸術応用科目／10単位		美術概論 美術概論	美術論1 近代日本画作家研究	美術論2 比較絵画論	美術論3 近代以降の絵画と視覚文化の研究	美術論4 現代アート概論「彫刻」をキーワードに		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4			領域授講推奨科目 ・特別講義3 ・現代美術論A ・現代美術論B ・絵画材料学			
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
		芸術応用科目　2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上							

芸術学科　現代アートコース　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3C 3コースの基礎を経験① ＊領域共通科目	美術実習1-c 立体表現	美術実習3-c 素材研究	美術実習5-c 企画・制作・展示	美術実習7-c 自由制作1		
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4C 3コースの基礎を経験 ＊領域共通科目	美術実習2-c 平面表現	美術実習4-c 場と表現	美術実習6-c 展覧会の広報メディア制作	美術実習8-c 自由制作2		
		美術基礎演習1 美術入門 ＊領域共通科目	美術基礎演習2 日本・現代・美術Ⅰ ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習1 古美術研究 ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習3 日本・現代・美術Ⅱ ＊領域共通科目	美術演習7-c ポートフォリオ制作	美術演習8-c 身体表現		
				美術演習2-c アーティスト研究	美術演習4-c 社会と表現				
				美術演習5-c 自己と表現	美術演習6-c 複合メディア実験				
芸術応用科目／10単位			美術概論 美術概論	美術論1 近代日本画作家研究	美術論2 比較絵画論	美術論3 近代以降の絵画と視覚文化の研究	美術論4 現代アート概論「彫刻」をキーワードに		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4			領域授講推奨科目 ・特別講義3 ・現代美術論A ・現代美術論B ・絵画材料学			
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3						
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上							

メディアデザイン領域

メディアデザイン領域人材育成目標について

さまざまなメディアについて基礎から学び、応用力を培いながら複数のメディアをまたぐメディアミックスによる表現の可能性を広げる。
それとともに社会や文化について思索を深め、次世代に対応した新しいコミュニケーションを創造できる人材を育成する。

メディアデザイン領域の特色・各課程での学びについて

メディアデザイン領域では、写真・グラフィックデザイン・映像について基礎から学び、メディアミックスによる表現の可能性を広げていく。
情報を発信する人と受信する人をつなぐインタフェースを、より魅力的なものとして提案していくことが「メディアデザイン」の役割。そのために、社会や文化について自分自身で考える力や、コミュニケーション能力を育む。

● 専門導入課程（1年生）

メディアデザイン領域での造形活動の基礎力を身につける。（発想力、知識、描写力、映像、写真、グラフィックデザインによる表現）

● 専門基盤課程（2～3年生）

各コースの専門分野で学ぶための基礎技術の習得及び基礎知識を修得し、独自の自己表現を追究するためのテーマの発展につなげる。
また、制作活動を通じて技術力を向上させ、社会への発表活動を通して表現力を充実させる。

● 専門研究課程（4年生）

各自の専門分野表現者としての総合力を研究・制作を行う。また集大成として4年間の学修成果をまとめ上げる。

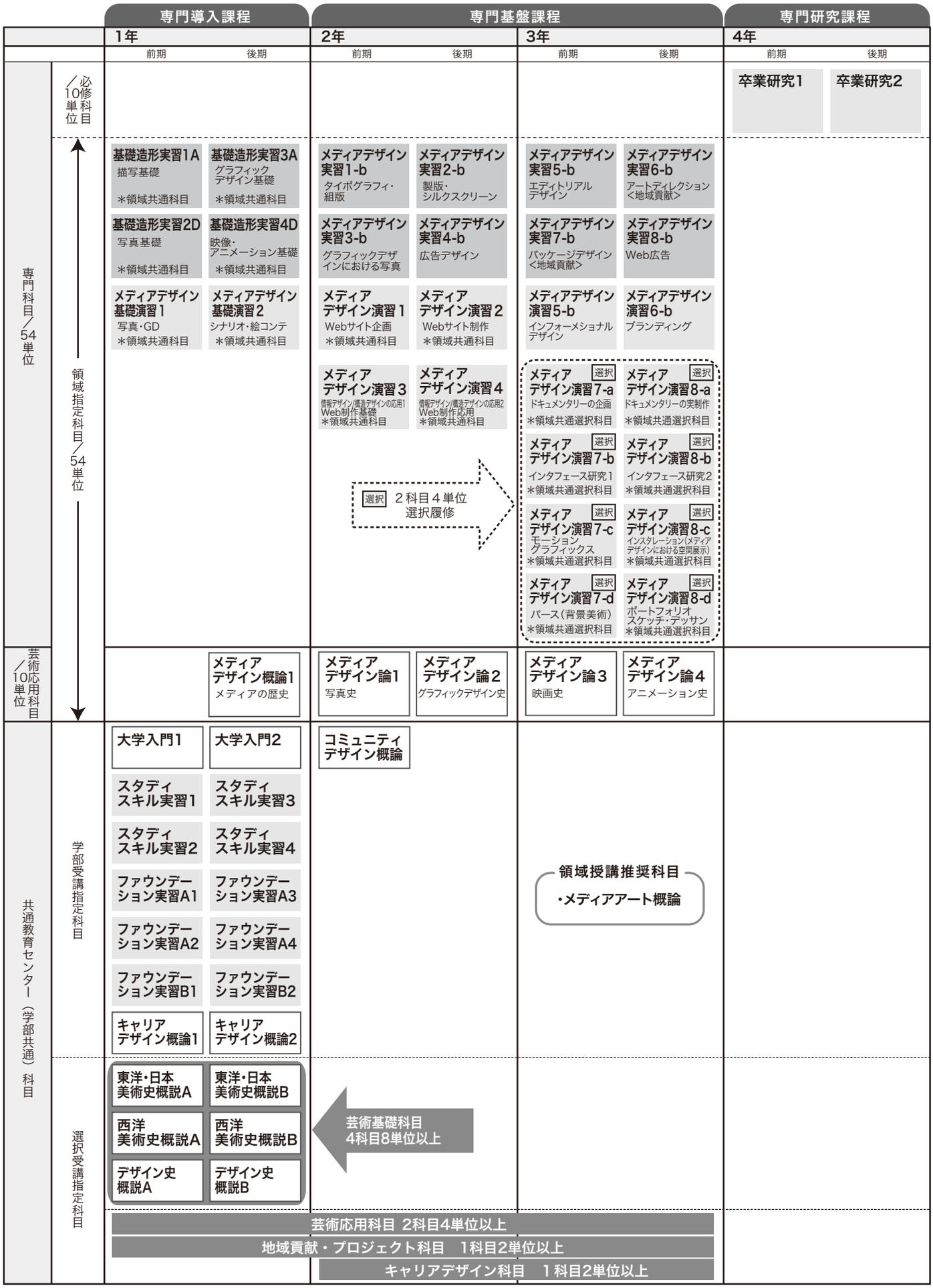
芸術学科　メディアデザイン領域

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定受講	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習１Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		領域の履修計画に基づき基礎造形実習1～4計８単位を修得すること
	基礎造形実習２Ａ		2		実習	○						
	基礎造形実習３Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		
	基礎造形実習４Ａ		2		実習	○						
	基礎造形実習２Ｂ		2		実習	○						
	基礎造形実習４Ｂ		2		実習	○						
	基礎造形実習３Ｃ		2		実習	○						
	基礎造形実習４Ｃ		2		実習	○						
	基礎造形実習２Ｄ		2		実習	○				＊学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	写真Cライセンス	
	基礎造形実習４Ｄ		2		実習	○				＊学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	映像撮影機材C	
	基礎造形実習１Ｅ		2		実習	○						
	メディアデザイン基礎演習１		2		演習	○				領域共通科目		領域の基礎演習を４単位修得すること
	メディアデザイン基礎演習２		2		演習	○				領域共通科目		
専門基盤科目	メディアデザイン演習１		2		演習		○			領域共通科目	DTPルームライセンス	領域共通専門基盤科目を8単位を修得すること
	メディアデザイン演習２		2		演習		○			領域共通科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン演習３		2		演習		○			領域共通科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン演習４		2		演習		○			領域共通科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン演習７-a		2		演習			○		領域共通選択科目		領域共通選択科目を4単位修得すること
	メディアデザイン演習７-b		2		演習			○		領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習７-c		2		演習			○		領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習７-d		2		演習			○		領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習８-a		2		演習			○		領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習８-b		2		演習			○		領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習８-c		2		演習			○		領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習８-d		2		演習			○		領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習５-a		2		演習			○		写真コース科目		コース専門の基盤科目を20単位修得すること
	メディアデザイン演習６-a		2		演習			○		写真コース科目		
	メディアデザイン実習１-ac		2		実習		○			写真コース科目	映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、映像照明機材B、ブロードキャスティングスタジオ(スタジオ/調整室)、コンピュータスタジオAライセンス	
	メディアデザイン実習２-a		2		実習		○			写真コース科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン実習３-a		2		実習		○			写真コース科目	写真Bライセンス	
	メディアデザイン実習４-a		2		実習		○			写真コース科目	写真B(暗室系、写真コンピュータルーム)ライセンス	
	メディアデザイン実習５-a		2		実習			○		写真コース科目		
	メディアデザイン実習６-a		2		実習			○		写真コース科目		
	メディアデザイン実習７-a		2		実習			○		写真コース科目		
	メディアデザイン実習８-a		2		実習			○		写真コース科目		
	メディアデザイン演習５-b		2		演習			○		グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン演習６-b		2		演習			○		グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン実習１-b		2		実習		○			グラフィックデザインコース科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン実習２-b		2		実習		○			グラフィックデザインコース科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン実習３-b		2		実習		○			グラフィックデザインコース科目	写真B(スタジオ撮影系)、DTPルームライセンス	
	メディアデザイン実習４-b		2		実習		○			グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン実習５-b		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン実習６-b		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン実習７-b		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン実習８-b		2		実習			○		グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン演習５-c		2		演習			○		映像・放送コース科目		
	メディアデザイン演習６-c		2		演習			○		映像・放送コース科目		
	メディアデザイン実習１-ac		2		実習		○			映像・放送コース科目	映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、映像照明機材B、ブロードキャスティングスタジオ(スタジオ/調整室)、コンピュータスタジオAライセンス	
	メディアデザイン実習２-c		2		実習		○			映像・放送コース科目	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオAライセンス	
	メディアデザイン実習３-cd		2		実習		○			映像・放送コース科目	写真B(撮影用品)、コンピュータスタジオAライセンス	
	メディアデザイン実習４-c		2		実習		○			映像・放送コース科目	映像撮影機材B、映像照明機材B、スタビライザー(RONIN)、映像サウンド機材B、映像サウンド機材C、コンピュータスタジオA、ブロードキャスティングスタジオ(スタジオ/調整室)、シンプルスタジオ、写真B(撮影用品)ライセンス	
	メディアデザイン実習５-c		2		実習			○		映像・放送コース科目		
	メディアデザイン実習６-c		2		実習			○		映像・放送コース科目		
	メディアデザイン実習７-c		2		実習			○		映像・放送コース科目		
	メディアデザイン実習８-c		2		実習			○		映像・放送コース科目		
	メディアデザイン演習５-d		2		演習			○		アニメーション・ＣＧコース科目		
	メディアデザイン演習６-d		2		演習			○		アニメーション・ＣＧコース科目		
	メディアデザイン実習１-d		2		実習		○			アニメーション・ＣＧコース科目	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオBライセンス	
	メディアデザイン実習２-d		2		実習		○			アニメーション・ＣＧコース科目	コンピュータスタジオBライセンス	
	メディアデザイン実習３-cd		2		実習		○			アニメーション・ＣＧコース科目	写真B(撮影用品)、コンピュータスタジオAライセンス	
	メディアデザイン実習４-d		2		実習		○			アニメーション・ＣＧコース科目	コンピュータスタジオAライセンス	
	メディアデザイン実習５-d		2		実習			○		アニメーション・ＣＧコース科目		
	メディアデザイン実習６-d		2		実習			○		アニメーション・ＣＧコース科目		
	メディアデザイン実習７-d		2		実習			○		アニメーション・ＣＧコース科目		
	メディアデザイン実習８-d		2		実習			○		アニメーション・ＣＧコース科目		
科研専目究門	卒業研究1	4			演習				○			領域の専門研究科目を10単位修得すること
	卒業研究2	6			演習				○			
芸術応用科目	メデイアデザイン概論		2		講義	○						領域の芸術応用科目を10単位修得すること
	メデイアデザイン論1		2		講義		○					
	メデイアデザイン論2		2		講義		○					
	メデイアデザイン論3		2		講義			○				
	メデイアデザイン論4		2		講義			○				

■芸術学科　メディアデザイン領域　写真コース
スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 描写基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン実習1-ac テレビ番組の企画と制作	メディアデザイン実習2-a グラフィックデザイン基礎から応用	メディアデザイン実習5-a 写真の原理と実験	メディアデザイン実習6-a 写真による表現力・技術力の向上		
		基礎造形実習2D 写真基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4D 映像・アニメーション基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン実習3-a 学内の機材・設備／写真表現技術	メディアデザイン実習4-a 写真作品制作の流れ／テーマの発見	メディアデザイン実習7-a 個々の作品テーマを見つける	メディアデザイン実習8-a 個展に向けた作品制作		
		メディアデザイン基礎演習1 写真・GD ＊領域共通科目	メディアデザイン基礎演習2 シナリオ・絵コンテ ＊領域共通科目	メディアデザイン演習1 Webサイト企画 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習2 Webサイト制作 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習5-a 作品制作のための作家研究 ＊写真コース必修科目	メディアデザイン演習6-a 写真術の歴史の変遷から将来の予測する力を養う ＊写真コース必修科目		
				メディアデザイン演習3 情報デザイン/構造デザインの応用1 Web制作基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習4 情報デザイン/構造デザインの応用2 Web制作応用 ＊領域共通科目	選択 メディアデザイン演習7-a ドキュメンタリーの企画 ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-a ドキュメンタリーの実制作 ＊領域共通選択科目		
				選択 2科目4単位 選択履修		選択 メディアデザイン演習7-b インタフェース研究1 ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-b インタフェース研究2 ＊領域共通選択科目		
						選択 メディアデザイン演習7-c モーショングラフィックス ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-c インスタレーション(メディアデザインにおける空間展示) ＊領域共通選択科目		
						選択 メディアデザイン演習7-d パース（背景美術） ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-d ポートフォリオスケッチ・デッサン ＊領域共通選択科目		
	芸術応用科目／10単位	メディアデザイン概論1 メディアの歴史		メディアデザイン論1 写真史	メディアデザイン論2 グラフィックデザイン史	メディアデザイン論3 映画史	メディアデザイン論4 アニメーション史		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3			領域授講推奨科目 ・メディアアート概論			
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上							

■ 芸術学科　メディアデザイン領域　グラフィックデザインコース
スタンダードカリキュラム



■ 芸術学科　メデイアデザイン領域　映像・放送コース スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	基礎造形実習1A 描写基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3A グラフィック デザイン基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン実習1-ac テレビ番組の企画と制作	メディアデザイン実習2-c サウンド実習	メディアデザイン実習6-c 映像の実験	メディアデザイン実習5-c ドキュメンタリー作品制作		
		基礎造形実習2D 写真基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4D 映像・アニメーション基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン実習3-cd 人形アニメ（カメラワーク、絵コンテ）	メディアデザイン実習4-c 実写映像の撮影、編集技法	メディアデザイン実習7-c シナリオ制作	メディアデザイン実習8-c ドラマ制作		
		メディアデザイン基礎演習1 写真・GD ＊領域共通科目	メディアデザイン基礎演習2 シナリオ・絵コンテ ＊領域共通科目	メディアデザイン演習1 Webサイト企画 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習2 Webサイト制作 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習5-c 映像社会学	メディアデザイン演習6-c 作家研究		
				メディアデザイン演習3 情報デザイン/構造デザインの応用1 Web制作基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習4 情報デザイン/構造デザインの応用2 Web制作応用 ＊領域共通科目	選択 メディアデザイン演習7-a ドキュメンタリーの企画 ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-a ドキュメンタリーの実制作 ＊領域共通選択科目		
				選択 2科目4単位 選択履修		選択 メディアデザイン演習7-b インタフェース研究1 ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-b インタフェース研究2 ＊領域共通選択科目		
						選択 メディアデザイン演習7-c モーショングラフィックス ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-c インスタレーション（メディアデザインにおける空間展示） ＊領域共通選択科目		
						選択 メディアデザイン演習7-d パース（背景美術） ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-d ポートフォリオスケッチ・デッサン ＊領域共通選択科目		
	芸術応用科目／10単位		メディアデザイン概論1 メディアの歴史	メディアデザイン論3 映画史	メディアデザイン論4 アニメーション史	メディアデザイン論1 写真史	メディアデザイン論2 グラフィックデザイン史		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3			領域授講推奨科目 ・メディアアート概論			
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上							

■ 芸術学科　メディアデザイン領域　アニメーション・CGコース
平成28(2016)年度以前入学生　スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	必修科目／10単位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目／54単位	メディアデザイン基礎造形実習1A 描写基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン実習1-d 3DCG基礎	メディアデザイン実習2-d VFX(After Effects&3ds Max)	メディアデザイン実習5-d キャラクターデザイン	メディアデザイン実習6-d 企画構想イメージボード		
		メディアデザイン基礎造形実習2D 写真基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン基礎造形実習4D 映像・アニメーション基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン実習3-cd 人形アニメ(カメラワーク、絵コンテ)	メディアデザイン実習4-d 作画基礎(RETAS!)	メディアデザイン実習7-d 作品制作・グループワーク<地域貢献>	メディアデザイン実習8-d 作品制作		
		メディアデザイン基礎演習1 写真・GD ＊領域共通科目	メディアデザイン基礎演習2 シナリオ・絵コンテ ＊領域共通科目	メディアデザイン演習1 Webサイト企画 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習2 Webサイト制作 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習5-d キャラクターデザイン	メディアデザイン演習6-d 絵本制作		
				メディアデザイン演習3 情報デザイン/構造デザインの応用1 Web制作基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習4 情報デザイン/構造デザインの応用2 Web制作応用 ＊領域共通科目	選択 メディアデザイン演習7-a ドキュメンタリーの企画 ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-a ドキュメンタリーの実制作 ＊領域共通選択科目		
				選択 2科目4単位 選択履修		選択 メディアデザイン演習7-b インタフェース研究1 ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-b インタフェース研究2 ＊領域共通選択科目		
						選択 メディアデザイン演習7-c モーショングラフィックス ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-c インスタレーション(メディアデザインにおける空間展示) ＊領域共通選択科目		
						選択 メディアデザイン演習7-d パース(背景美術) ＊領域共通選択科目	選択 メディアデザイン演習8-d ポートフォリオスケッチ・デッサン ＊領域共通選択科目		
	芸術応用科目／10単位		メディアデザイン概論1 メディアの歴史	メディアデザイン論3 映画史	メディアデザイン論4 アニメーション史	メディアデザイン論1 写真史	メディアデザイン論2 グラフィックデザイン史		
共通教育センター（学部共通）科目	学部受講指定科目	大学入門1	大学入門2	コミュニティデザイン概論					
		スタディスキル実習1	スタディスキル実習3						
		スタディスキル実習2	スタディスキル実習4						
		ファウンデーション実習A1	ファウンデーション実習A3			領域授講推奨科目 ・メディアアート概論			
		ファウンデーション実習A2	ファウンデーション実習A4						
		ファウンデーション実習B1	ファウンデーション実習B2						
		キャリアデザイン概論1	キャリアデザイン概論2						
	選択受講指定科目	東洋・日本美術史概説A	東洋・日本美術史概説B	芸術基礎科目 4科目8単位以上					
		西洋美術史概説A	西洋美術史概説B						
		デザイン史概説A	デザイン史概説B						
		芸術応用科目 2科目4単位以上							
		地域貢献・プロジェクト科目　1科目2単位以上							
		キャリアデザイン科目　1科目2単位以上							

空間デザイン領域

空間デザイン領域人材育成目標について

生活の基本要素である「衣」・「モノ」・「住」をキーワードに、素材と向き合い、ものごとやしくみを形に表現する力を育み、「発見」から「表現」「構築」、さらには社会に対して多様な価値を提案できる人材を育成します。

空間デザイン領域の特色・各課程での学びについて

空間デザイン領域が対象とする分野は、雑貨・衣服・テキスタイル・機器・家具・住宅など私たちの生活を取り巻くあらゆるものにおよんでいます。公共空間やショップ、ブランディング、身体表現、素材づくりからインスタレーションまで空間を創造し表現するための分野を横断的に学ぶことができます。

● 専門導入課程（1年生）

1年次では立体・素材・人体を中心に発想や造形など、2年次以降それぞれの専門を学ぶために必要な共通の基礎を学びます。あらゆるものごとに対する好奇心を大切にし、発見から発想につなげることのできる能力を養います。

● 専門基盤課程（2～3年生）

2～3年次では専門の知識や技能を習得し、独自な考え方と視点を獲得します。また社会と自分を深く見つめることで問題や制作に向きあう姿勢を身につけ、4年次での自律的な研究過程に備えます。

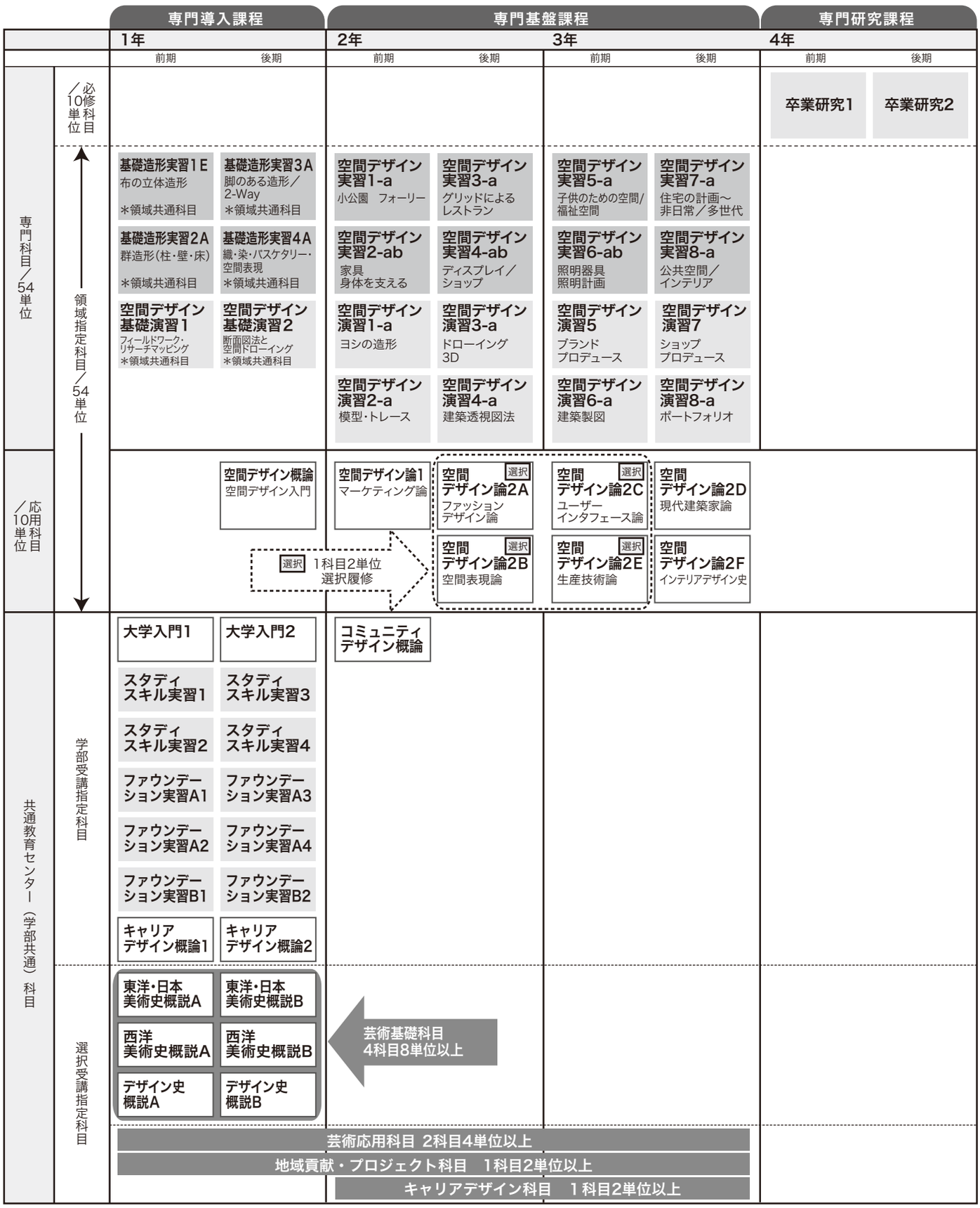
● 専門研究課程（4年生）

4年次では、自らの進路を見すえて自律的に研究を行い、社会に対して具体的な提案を行います。自ら企画して行動に起こし成し遂げる、世の中で必要とされる人材をめざします。

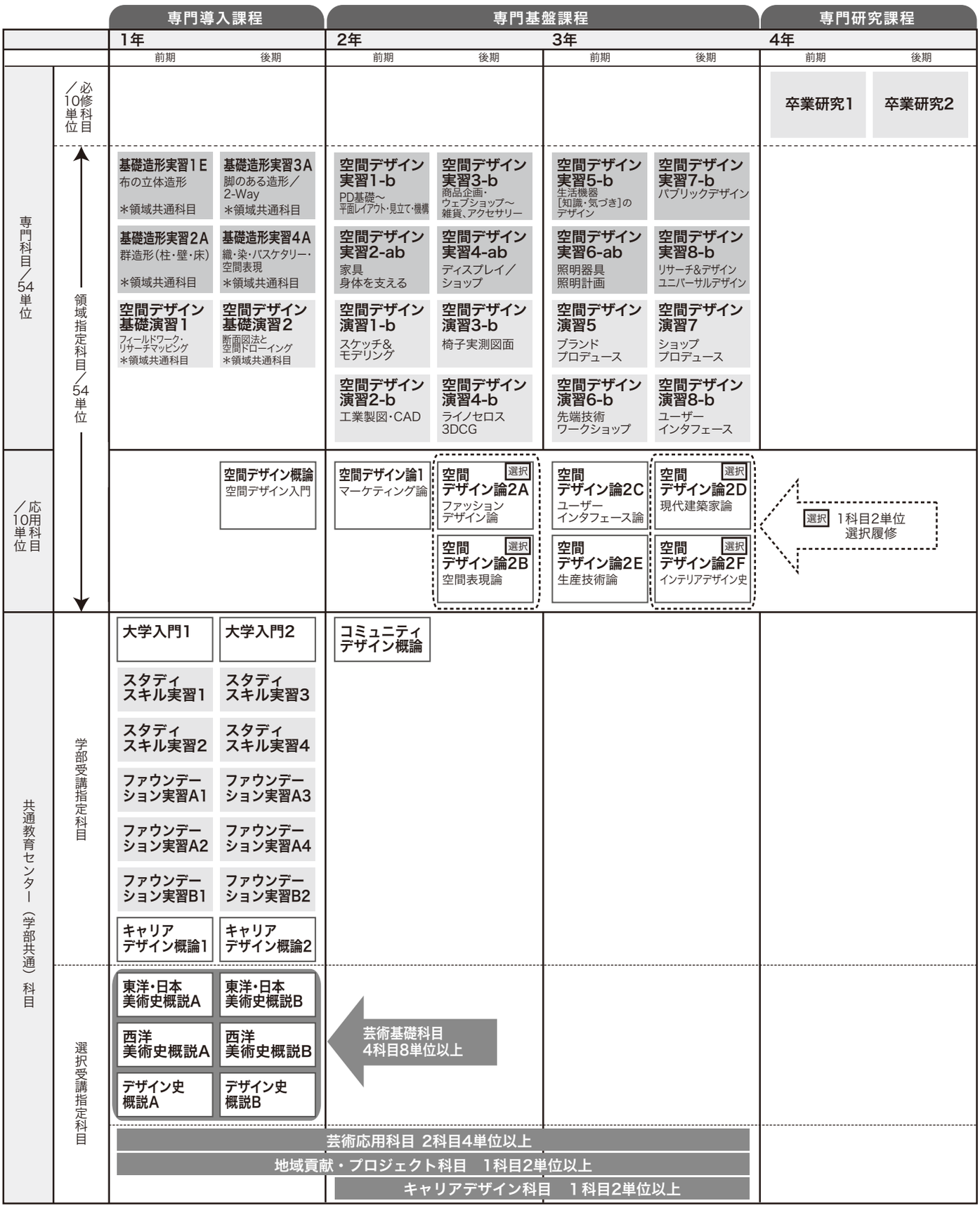
芸術学科　空間デザイン領域

カリキュラム		単位数 必修	単位数 指定受講	単位数 選択	授業形態	開講期・年次 1年	2年	3年	4年	特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
専門導入科目	基礎造形実習１Ａ		2		実習	○						基礎造形実習1～4 計８単位を修得すること
	基礎造形実習２Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習３Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習４Ａ		2		実習	○				＊学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習２Ｂ		2		実習	○						
	基礎造形実習４Ｂ		2		実習	○						
	基礎造形実習３C		2		実習	○						
	基礎造形実習４C		2		実習	○						
	基礎造形実習２D		2		実習	○						
	基礎造形実習４D		2		実習	○						
	基礎造形実習１E		2		実習	○				＊学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	空間デザイン基礎演習１		2		演習	○				領域共通科目		領域の基礎演習を ４単位修得すること
	空間デザイン基礎演習２		2		演習	○				領域共通科目		
専門基盤科目	空間デザイン演習5		2		演習			○		領域共通科目		領域共通および 各コースの専門基盤科目 32単位を修得すること
	空間デザイン演習7		2		演習			○		領域共通科目		
	空間デザイン演習1-a		2		演習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習2-a		2		演習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習3-a		2		演習		○			住環境デザインコース科目	プロダクトコンピュータルームライセンス	
	空間デザイン演習4-a		2		演習		○			住環境デザインコース科目	プロダクトコンピュータルームライセンス	
	空間デザイン演習6-a		2		演習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習8-a		2		演習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習1-a		2		実習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習2-ab		2		実習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習3-a		2		実習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習4-ab		2		実習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習5-a		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習6-ab		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習7-a		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習8-a		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習1-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習2-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース科目	プロダクトコンピュータルームライセンス	
	空間デザイン演習3-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習4-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース科目	プロダクトコンピュータルームライセンス	
	空間デザイン演習6-b		2		演習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習8-b		2		演習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習1-b		2		実習		○			プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習2-ab		2		実習		○			プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習3-b		2		実習		○			プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習4-ab		2		実習		○			プロダクトデザインコース科目	プロダクトコンピュータルームライセンス	
	空間デザイン実習5-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習6-ab		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習7-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習8-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習1-c		2		演習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習2-c		2		演習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習3-c		2		演習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習4-c		2		演習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習6-c		2		演習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習8-c		2		演習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習1-c		2		実習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習2-c		2		実習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習3-c		2		実習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習4-c		2		実習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習5-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習6-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習7-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習8-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
専門科目研究科	卒業研究1	4			演習				○			領域の専門分野を選択して 10単位を修得すること
	卒業研究2	6			演習				○			
芸術応用科目	空間デザイン概論		2		講義	○						空間デザイン概論、 空間デザイン論1を 修得すること 空間デザイン論2A～2Fより ３科目6単位を修得すること
	空間デザイン論1		2		講義		○					
	空間デザイン論2A		2		講義		○					
	空間デザイン論2B		2		講義		○					
	空間デザイン論2C		2		講義		○					
	空間デザイン論2D		2		講義		○					
	空間デザイン論2E		2		講義		○					
	空間デザイン論2F		2		講義		○					

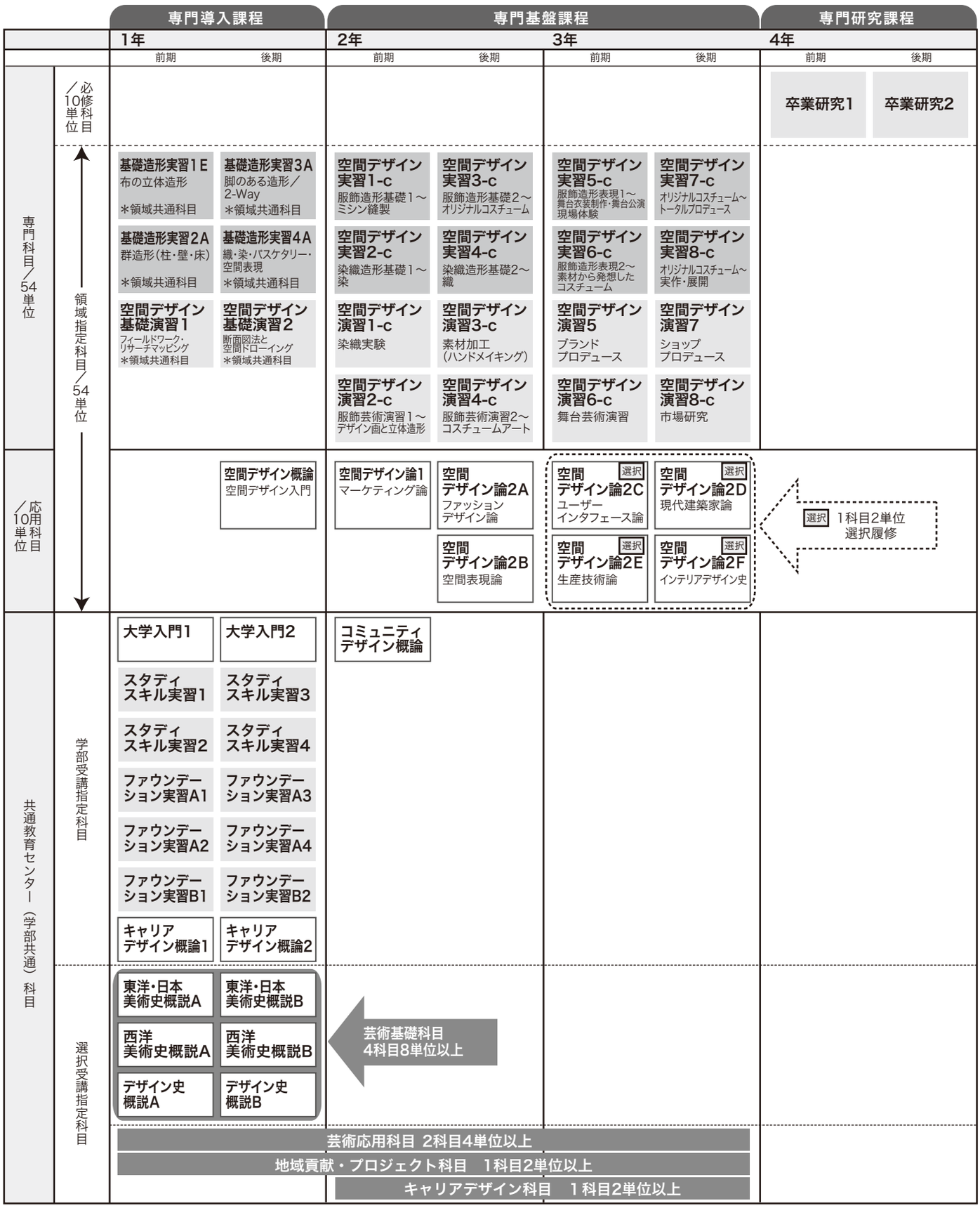
■ 芸術学科　空間デザイン領域　住環境デザインコース
スタンダードカリキュラム



芸術学科　空間デザイン領域　プロダクトデザインコース
スタンダードカリキュラム



■ 芸術学科　空間デザイン領域　コスチュームデザインコース
スタンダードカリキュラム



共通教育センター科目（学部共通科目）

共通教育センター科目（学部共通科目）とは、基礎科目群、応用科目群、社会実践科目群、教養科目群から構成され共通教育センター所属の教員がこの科目群をバックアップしています。

①基礎科目群

芸術大学に進学した学生が等しく身につけるべき知識や技能を修得するために１年生全員が学ぶ科目で以下の科目で構成されます。

スタートプログラム科目……４年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎学力を身につけるための科目です。

芸術基礎科目……芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支えるための科目です。

ファウンデーション科目……所属する領域に関係なく複数クラスに編成して、専門分野の枠を超えた教員組織の指導のもと、美術経験の多少にかかわらず、表現することの面白さを体感することを通して芸術学部共通の造形基礎を学ぶ科目です。「描く」「つくる」「発想する」の３つの基本的なテーマに沿って、実技、講義、ワークショップ、発表、合評などで授業を構成し、表現課程での工夫や発見を通して、視野を広げていく楽しさと柔軟な思考を養う「ファウンデーション実習Ａ」やコンピュータの基礎を学ぶ「ファウンデーション実習Ｂ」があります。

②応用科目群

広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を養うために必要不可欠な科目群です。

③社会実践科目群

「芸術による社会への貢献」を実践する科目群で自分の将来の姿を実現に近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会貢献を実現するプロジェクトを単位化する地域貢献・プロジェクト科目があります。

④教養科目群

各学生の専門や志向に有益な学問領域について自主的に学ぶことができる科目群で、教養科目、外国語科目、単位互換事業科目で構成されます。

共通教育センター科目（学部共通科目）　全学適用

科目一覧			学芸員	教職	単位数 必修	単位数 指定科目	単位数 選択	授業形態	配当学年（望ましい履修学年） 1年	2年	3年	4年	特記事項
基礎科目群	ファウンデーション科目	ファウンデーション実習A1				1		実習	○				1年次に6科目6単位を修得すること
		ファウンデーション実習A2				1		実習	○				
		ファウンデーション実習A3				1		実習	○				
		ファウンデーション実習A4				1		実習	○				
		ファウンデーション実習B1		必修		1		実習	○				
		ファウンデーション実習B2		必修		1		実習	○				
		ファウンデーション実習C1					1	実習	○				
		ファウンデーション実習C2					1	実習	○				
		プレファウンデーション実習1					1	実習		○	○		
		プレファウンデーション実習2					1	実習		○	○		
	スタートプログラム科目	大学入門1				1		演習	○				1年次に6科目6単位以上修得すること
		大学入門2				1		演習	○				
		スタディスキル実習1				1		実習	○				
		スタディスキル実習2				1		実習	○				
		スタディスキル実習3				1		実習	○				
		スタディスキル実習4				1		実習	○				
	芸術基礎科目	東洋・日本美術史概説A	選択	必修		2		講義	○	○			1年次に4科目8単位以上修得すること
		東洋・日本美術史概説B	選択	選択		2		講義	○	○			
		西洋美術史概説A	選択	必修		2		講義	○	○			
		西洋美術史概説B	選択	選択		2		講義	○	○			
		デザイン史概説A	選択	選択		2		講義	○	○			
		デザイン史概説B	選択	選択		2		講義	○	○			
応用科目群	芸術応用科目	イラストレーション概論				2		講義	○	○			① 所属する領域の理論科目を5科目10単位以上修得すること 総合領域学生は、各自の学びの流れに従って理論科目を5科目10単位以上修得すること ② ①以外の科目を2科目4単位以上受講すること
		イラストレーション論1				2		講義		○			
		イラストレーション論2				2		講義		○			
		イラストレーション論3				2		講義			○		
		イラストレーション論4				2		講義			○		
		美術概論		必修		2		講義	○	○			
		美術論1				2		講義		○			
		美術論2				2		講義		○			
		美術論3				2		講義			○		
		美術論4				2		講義			○		
		メデイアデザイン概論				2		講義	○	○			
		メデイアデザイン論1				2		講義		○	○		
		メデイアデザイン論2				2		講義		○	○		
		メデイアデザイン論3				2		講義		○	○		
		メデイアデザイン論4				2		講義		○	○		
		空間デザイン概論				2		講義	○	○			
		空間デザイン論1				2		講義		○	○		
		空間デザイン論2A				2		講義		○	○		
		空間デザイン論2B ※				2		講義		○	○		
		空間デザイン論2C				2		講義		○	○		
		空間デザイン論2D				2		講義		○	○		
		空間デザイン論2E ※				2		講義		○	○		
		空間デザイン論2F ※				2		講義		○	○		
		現代デザイン論A				2		講義		○	○		
		現代デザイン論B				2		講義		○	○		
		現代美術論A		選択			2	講義		○	○		
		現代美術論B ※		選択			2	講義		○	○		
		絵画材料学					2	講義		○	○		
		メデイアアート概論					2	講義		○	○		
		日本美術史A		選択			2	講義		○	○	○	
		日本美術史B ※		選択			2	講義		○	○	○	
		西洋美術史A		選択			2	講義		○	○	○	
		西洋美術史B		選択			2	講義		○	○	○	
		日本建築史					2	講義		○	○	○	
		西洋建築史 ※					2	講義		○	○	○	
		工芸史 ※	選択				2	講義		○	○	○	
		図法演習					2	演習		○	○	○	
		色彩演習					2	演習		○	○		
		人体表現演習					2	演習			○		
		彫刻演習		選択			2	演習		○	○		
		工芸演習		選択			2	演習		○	○		
		絵画演習		選択			2	演習		○	○		
		デザイン演習		選択			2	演習		○	○		
		芸術鑑賞A					2	講義	○	○	○	○	
		芸術鑑賞B					2	講義	○	○	○	○	
		特別講義1					1	講義		○	○	○	
		特別講義2					1	講義		○	○	○	
		特別講義3 ※					1	講義		○	○		
		特別講義4					1	講義	○	○	○	○	
		特別講義5					1	講義	○	○	○	○	
選択科目群	教養科目	自然科学概論A ※					2	講義		○	○	○	
		自然科学概論B ※					2	講義		○	○	○	
		自然科学概論C					2	講義		○	○	○	
		自然科学概論D					2	講義		○	○	○	
		社会学A					2	講義		○	○	○	
		社会学B ※					2	講義		○	○	○	
		現代社会論A					2	講義		○	○	○	
		現代社会論B ※					2	講義		○	○	○	
		法学（日本国憲法）		必修			2	講義	○	○	○	○	
		人権教育		必修			2	講義		○	○		
		ボランティアワーク1		必修			1	演習		○			
		ボランティアワーク2		必修			1	実習			○		
		哲学A					2	講義	○	○	○	○	
		哲学B ※					2	講義	○	○	○	○	
		宗教学A					2	講義	○	○	○	○	
		宗教学B ※					2	講義	○	○	○	○	
		文化人類学A	選択				2	講義		○	○	○	
		文化人類学B ※	選択				2	講義		○	○	○	

科目一覧			学芸員	教職	単位数 必修	単位数 指定科目	単位数 選択	授業形態	配当学年（望ましい履修学年） 1年	2年	3年	4年	特記事項 複数開講、通年開講、集中科目等について特記　等
選択科目群	教養科目	文化史A	選択				2	講義		○	○	○	
		文化史B ※	選択				2	講義		○	○	○	
		心理学A					2	講義	○	○	○	○	
		心理学B					2	講義	○	○	○	○	
		深層芸術心理学A ※					2	講義		○	○		
		深層芸術心理学B					2	講義		○	○		
		考古学A	選択				2	講義	○	○	○	○	
		考古学B ※	選択				2	講義	○	○	○	○	
		美学A					2	講義		○	○	○	
		美学B ※					2	講義		○	○	○	
		人間関係実習A					1	実習	○	○	○	○	
		人間関係実習B					1	実習	○	○	○	○	
		健康体力論		選択			2	講義	○	○	○	○	
		スポーツ実習A		選択			1	実習	○	○	○	○	
		スポーツ実習B		選択			1	実習	○	○	○	○	
		スポーツ実習C		選択			1	実習	○	○	○	○	
		スポーツ実習D		選択			1	実習	○	○	○	○	
		スポーツ実習E		選択			1	実習	○	○	○	○	
	外国語科目	英語入門Ⅰ					1	実習	○	○			
		英語入門Ⅱ					1	実習	○	○			
		英語A		選択			1	実習	○	○	○	○	
		英語B		選択			1	実習	○	○	○	○	
		英語C		選択			1	実習	○	○	○	○	
		英語D ※		選択			1	実習	○	○	○	○	
		英語E ※					1	実習	○	○	○	○	
		英語F					1	実習	○	○	○	○	
		英語G					1	実習	○	○	○	○	
		英会話A		選択			1	実習	○	○	○	○	
		英会話B		選択			1	実習	○	○	○	○	
		英会話C		選択			1	実習	○	○	○	○	
		英会話D		選択			1	実習	○	○	○	○	
		英会話E					1	実習	○	○	○	○	
		日本語A					1	実習	○				
		日本語B					1	実習	○				
		日本語C					1	実習		○			
		日本語D					1	実習		○			
社会実践科目群	地域貢献・プロジェクト科目	コミュニティデザイン概論				2		講義		○			
		コミュニティデザイン論1 ※					2	講義		○	○	○	
		コミュニティデザイン論2					2	講義		○	○	○	
		琵琶湖の民俗史	選択				2	講義	○	○	○	○	
		近江学A					2	講義	○	○	○	○	① コミュニティデザイン概論を修得のこと ② ①以外の科目を１科目２単位以上受講すること
		近江学B ※					2	講義	○	○	○	○	
		プロジェクト演習1A～1E					2	演習	○				
		プロジェクト演習2A～2E					2	演習		○			
		プロジェクト演習3A～3E					2	演習			○		
		プロジェクト演習4A～4E					2	演習				○	
	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン概論1				1		講義	○				
		キャリアデザイン概論2				1		講義	○				
		キャリアデザイン論A					2	講義		○	○		
		キャリアデザイン論B					2	講義		○	○		
		就業力育成論1					1	講義		○			
		就業力育成論2					1	講義		○			
		就業力育成論3					1	講義			○		
		就業力育成論4					1	講義			○		
		就業力育成演習A					2	演習		○			
		就業力育成演習B					2	演習		○			
		就業力育成演習C					2	演習			○		① キャリアデザイン概論１及び2を修得のこと ② ①以外の科目を１科目２単位以上受講すること
		就業力育成演習D					2	演習			○		
		ポートフォリオ演習					2	演習			○		
		インターンシップA					2	実習		○	○		
		インターンシップB					2	実習			○		
		コンピュータ実践講座A					1	実習	○	○	○	○	
		コンピュータ実践講座B					1	実習	○	○	○	○	
		英語実践講座A					1	実習	○	○	○	○	
		英語実践講座B					1	実習	○	○	○	○	
		英語実践講座C					1	実習	○	○	○	○	
		色彩実践講座A					1	実習	○	○	○	○	
		色彩実践講座B					1	実習	○	○	○	○	

※科目については、平成29年度の開講はありません。科目概要については、平成28年度シラバスで確認することができます。必要な方は教務課で確認してください。

プロジェクト演習について

「芸術による社会への貢献」を教育理念とする本学では、地域貢献活動を具現化するために「結ぶ、つなげる、広げる」をテーマに、「学生・教員の教育、研究に貢献していること」「連携先の社会活動に貢献していること」「大学を含む地域社会全体に貢献していること」という3つの貢献を包括する事業をプロジェクトとして展開しています。

その中でも、学生の教育や教員の研究に資する内容があるものについては、本学の教育カリキュラムの一環として「プロジェクト演習」という科目（2単位の認定科目）を設定して、単位認定を行っています。

科目名は、「（例）プロジェクト演習1A」と呼び、数字「1」の部分は受講時期に合わせた学修目標のレベルを示し、アルファベットはプロジェクトの内容に準じるカテゴリを意味します。（下記を参考にしてください）

プロジェクトの受講時期に合わせた学修目標のレベル表

	専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程
	1年生	2年生	3年生	4年生
	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
科目名	プロジェクト演習1A プロジェクト演習1B プロジェクト演習1C プロジェクト演習1D プロジェクト演習1E	プロジェクト演習2A プロジェクト演習2B プロジェクト演習2C プロジェクト演習2D プロジェクト演習2E	プロジェクト演習3A プロジェクト演習3B プロジェクト演習3C プロジェクト演習3D プロジェクト演習3E	プロジェクト演習4A プロジェクト演習4B プロジェクト演習4C プロジェクト演習4D プロジェクト演習4E

プロジェクトのカテゴリ

A：歴史・地域　　B：デザイン　　C：文化・芸術　　D：教育・福祉　　E：プロデュース

学修目標のめやす

学修目標は学年ごとに設定された以下の学修目標と、カテゴリごとの開講目的への理解などから構成されます。
以下の学修目標は一般的な一例です。プロジェクトによってその内容は変わります。

＜学年＞　　＜目標例＞

1年生 …… 積極的にプロジェクトに参加し、共同作業を行う
2年生 …… 与えられた役割を理解し、自らの意思で作業を行う
3年生 …… 参加するプロジェクトの内容を理解し、企画・立案ができる
4年生 …… リーダーとしてプロジェクトを牽引する、またはフォロワーとしてプロジェクトを遂行する
地域文化とその背景を理解し、自らの表現が社会と対峙できているかを理解できる

プロジェクト科目の履修登録から単位認定まで

プロジェクト科目は履修登録ガイダンス時に、開講するプロジェクトのシラバスを公開します。

⇒シラバスを確認して履修登録を行います。

⇒初回の授業で担当教員からガイダンスを受けます。

⇒ガイダンスでは、「プロジェクトレポート」の説明を受けます。

⇒「プロジェクトレポート」とは、そのプロジェクトにおける自分の目標や、進行状況や取り組み状況、プロジェクトの結果、まとめなどを写真や図表も交えてわかりやすくまとめるポートフォリオのようなものです。授業が開始すると同時にレポートの作成を始めます。

⇒プロジェクトが終了したら、担当教員の指示を受け、指定の期日までに「プロジェクトレポート」を教務課に提出します。

⇒担当教員がレポートを確認して到達目標を判断し、目標レベルに到達していると判断されれば「認定」となり、成績表には「N」と記され、2単位が取得単位として認定されます。

平成29年度に開講が予想されるプロジェクト

・近江里山フィールドワーク（担当：今森光彦客員教授監修）
・大津祭曳山連盟公式キャラクター「ちま吉」プロジェクト（担当：田中真一郎）
・大津市歴史博物館おもちゃづくりワークショッププロジェクト（担当：宇野君平）
・実践デザインプロデュースプロジェクト（担当：大草真弓）
他、合計15科目程度のプロジェクト演習が開講される予定です。3月末の履修登録ガイダンスで募集を開始します。